

とかもす

社長弊社  
アイドル眠マゲす





とかもす

社長弊社  
アイドル眠マオす

本作品は18歳未満の方は閲覧できません  
本作品はフィクションです  
実際の人物・団体名等とは関係ありません



え？今でも一緒に寮で住んでるの？

はい



そうですね  
メンバーに  
よっては  
もっと長い娘も  
います

そっか  
そっか……

じゃあ……



へえ……！  
そうなんだ  
……！

じゃあ  
デビューして  
3周年って  
ことは……  
3年間一緒に？

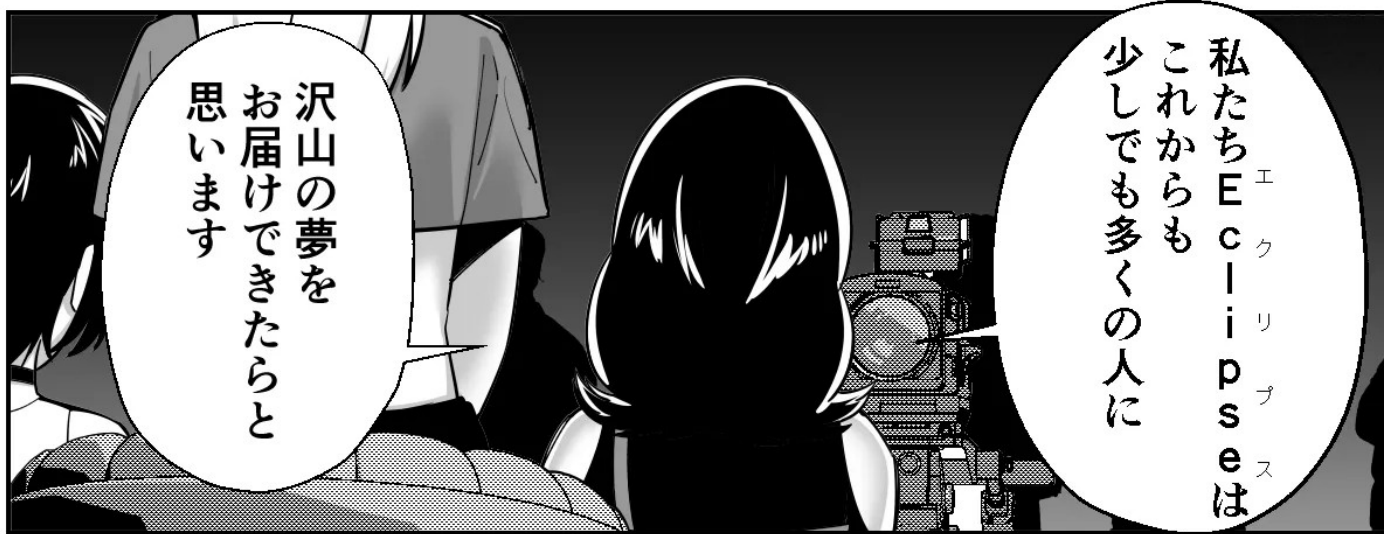


……  
では最後に

デビューして  
3年経った今

改めて今後の  
目標とか夢とか  
教えてもらえ  
ますか？

はい



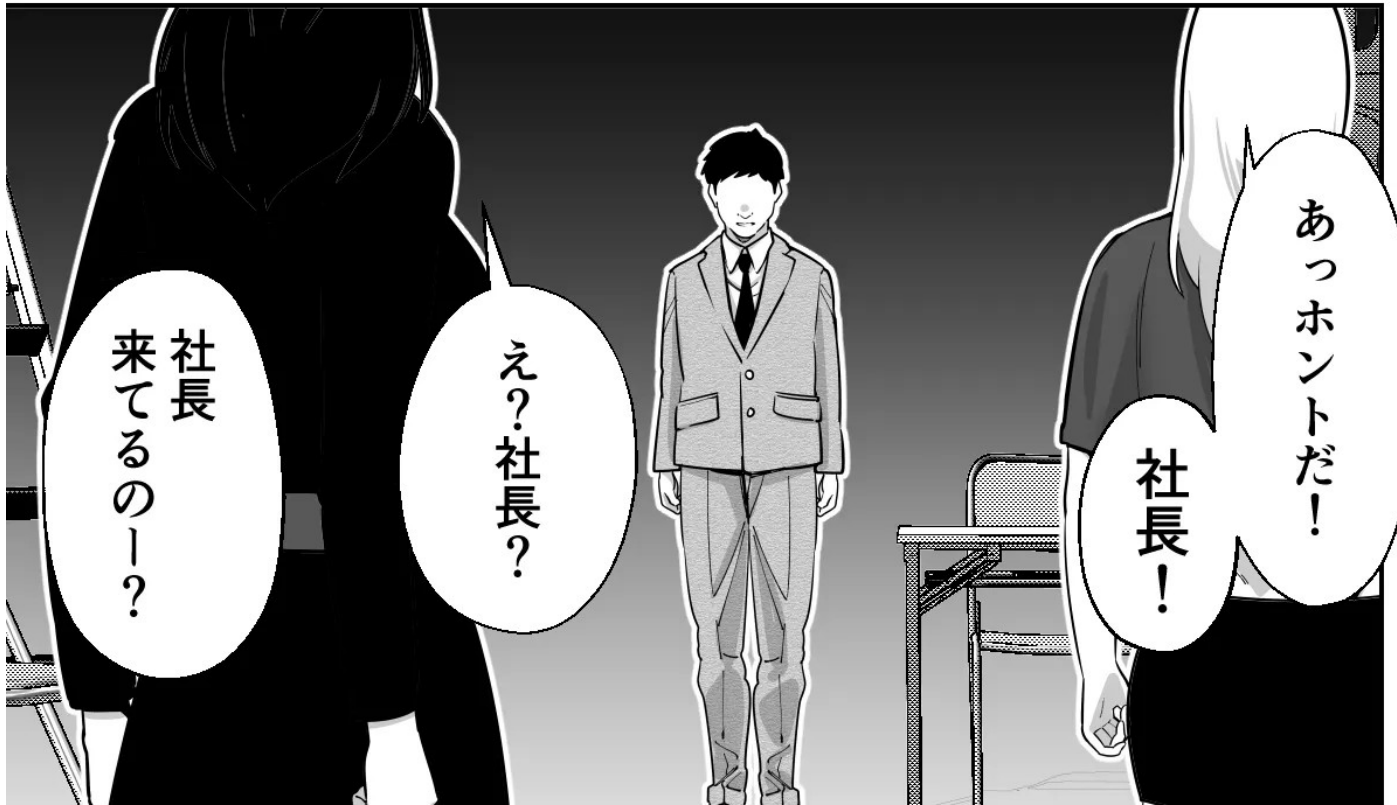
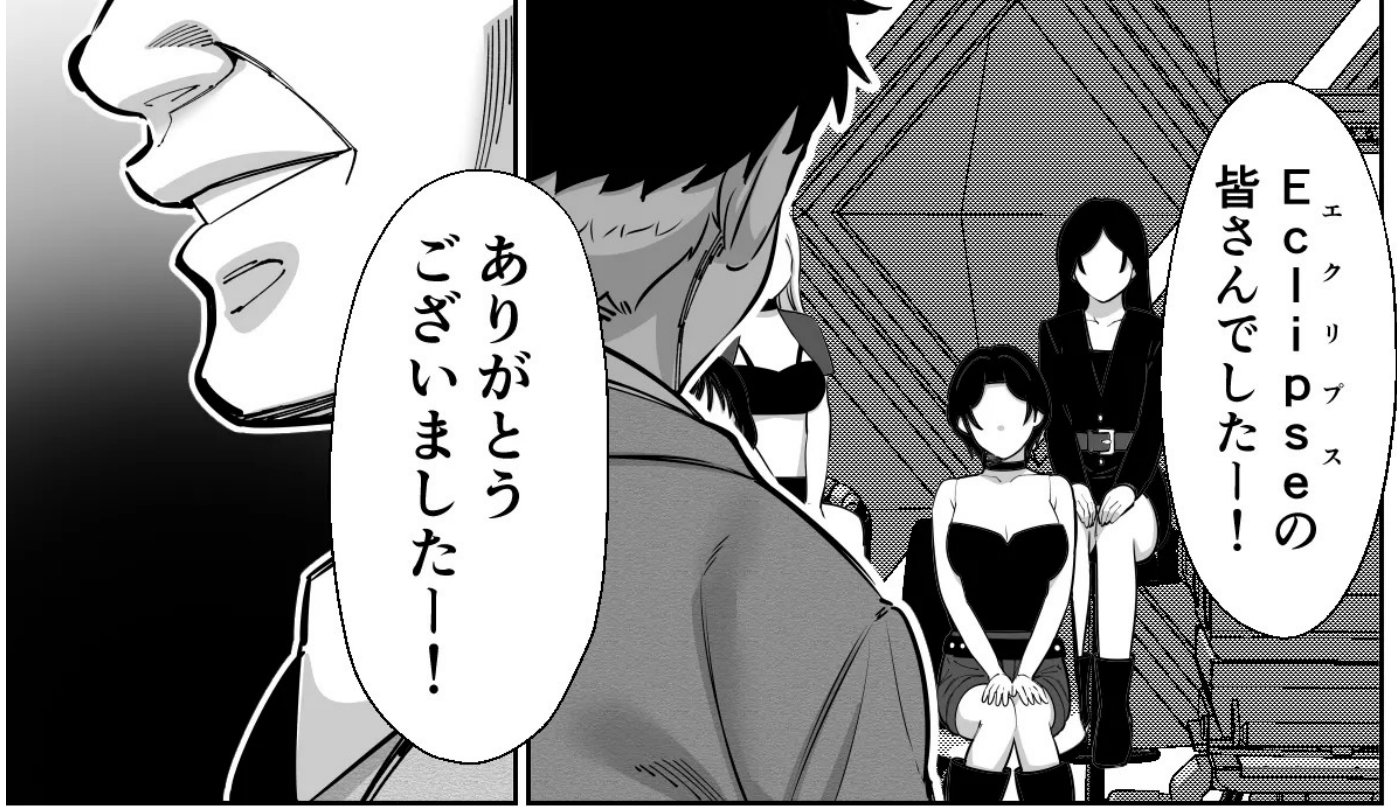
私たち<sup>エキク</sup>ECCLIPSE<sup>リブス</sup>は  
これからも  
少しでも多くの人に

沢山の夢を  
お届けできたらと  
思います



今後も  
応援

よろしく  
お願いします！

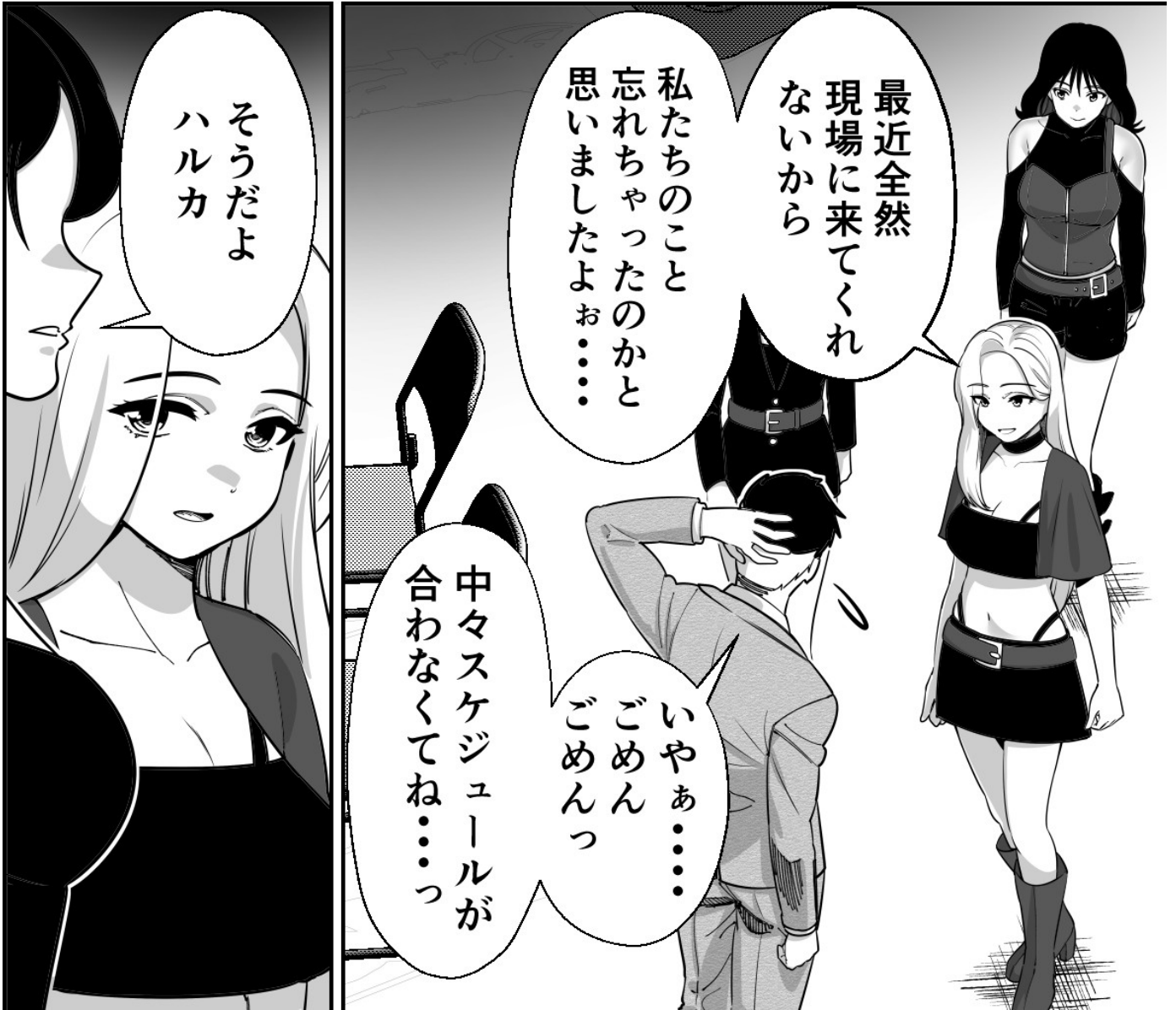




お疲れ様ですーす

お疲れ様

お疲れ様です



そうだよ  
ハルカ

最近全然  
現場に来てくれ  
ないから

私たちのこと  
忘れちゃったのかと  
思いましたよお……

中々スケジュールが  
合わなくてね……っ

いやあ……  
ごめん  
ごめんっ



うーんまあ  
そうかもしん  
ないけどさあ  
……

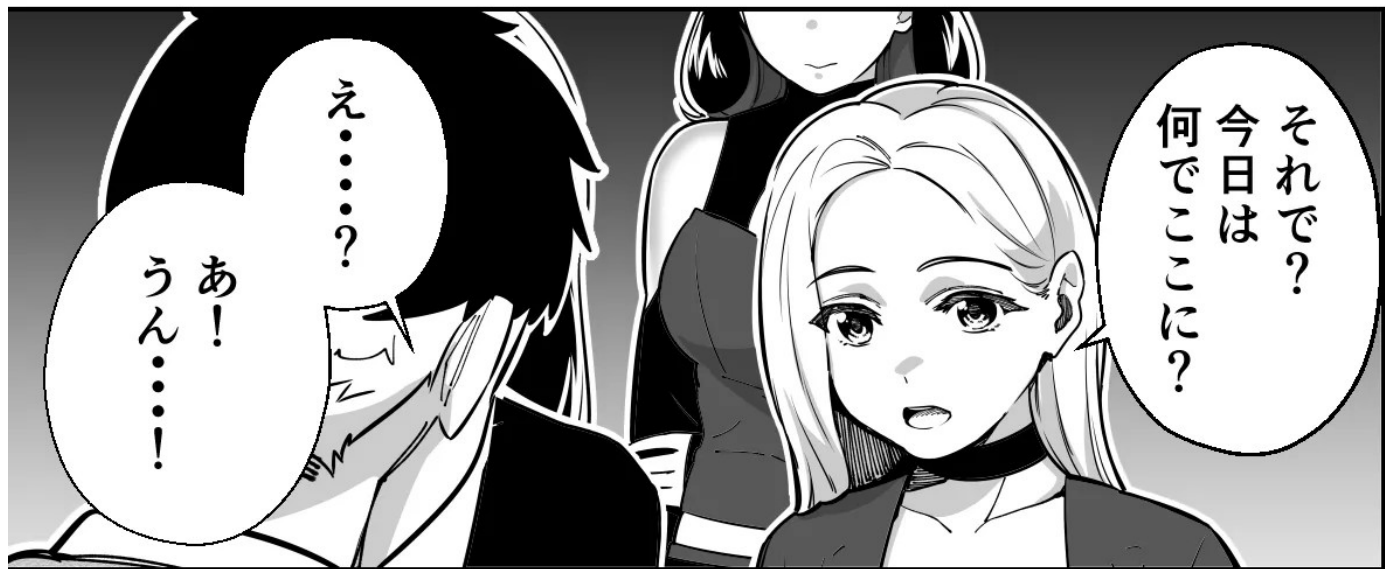
あはは……いや  
参ったな……



ユキ

もう今は  
あの一Sエンター  
テインメント  
の社長なんだから

昔のように  
はいかないの



それで？  
今日は  
何でここに？

え……？

あ！  
うん……！



今日はデビューから  
3周年の  
記念すべき日  
だからね

どうしても皆に  
直接会って  
お祝いを一言  
言いたかった  
んだよ

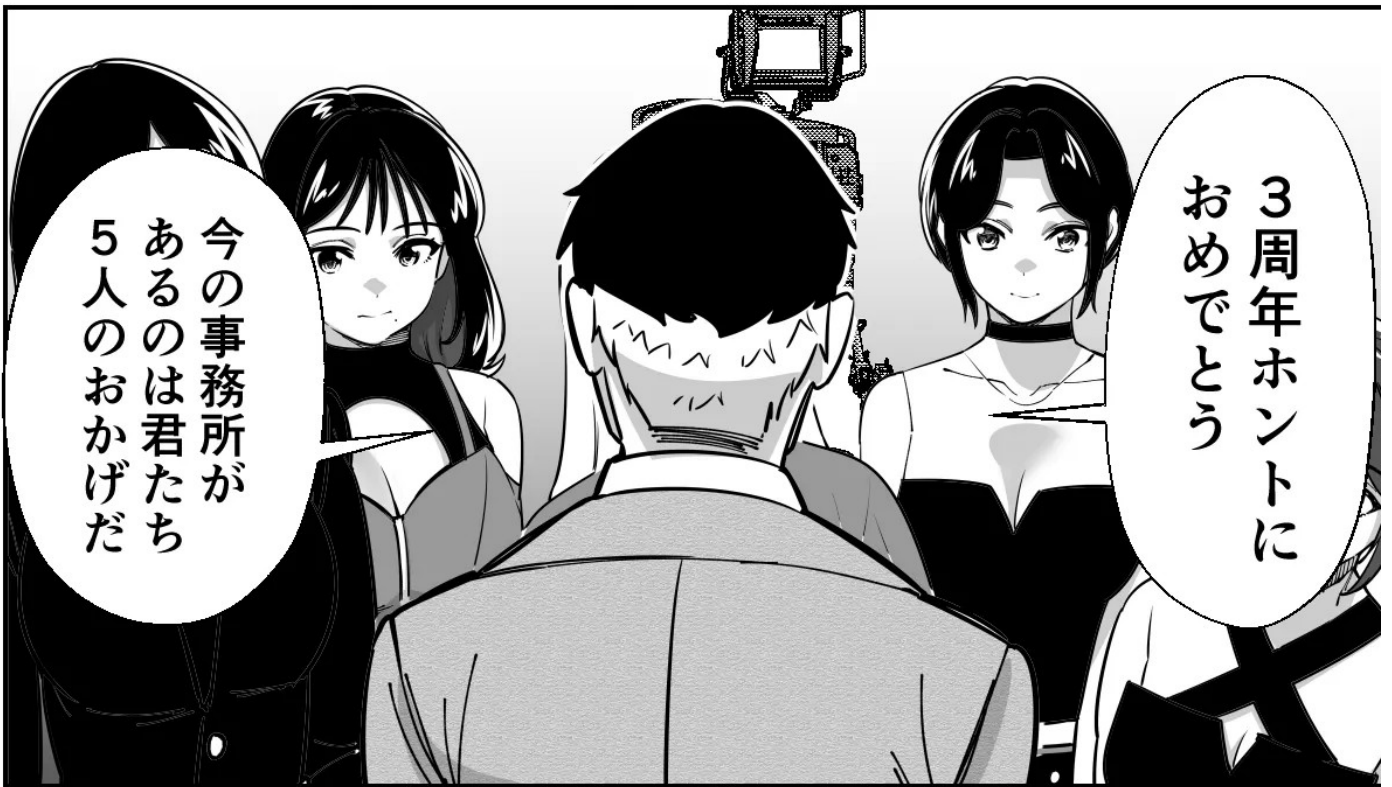
え？わざわざ  
ですか？

もちろん



改めまして  
……

じゃあ……  
ゴホン



今の事務所が  
あるのは君たち  
5人のおかげだ

3周年ホントに  
おめでとう



もちろん  
僕も含めてね

君たちが  
頑張ってくれた  
からこそ  
多くの後輩たちも  
沢山の機会を  
与えてもらってる

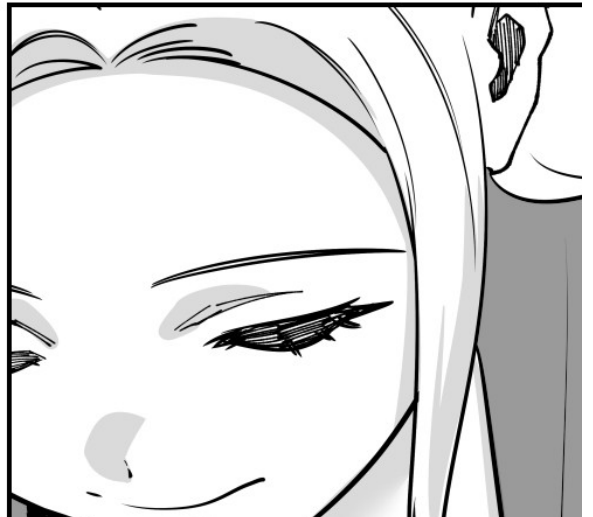
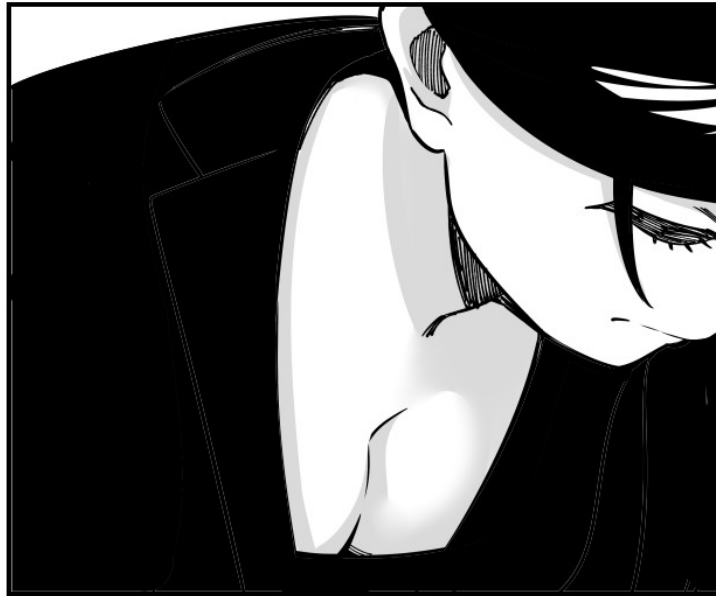


本当にありがとう



ありがとうございます  
.....!

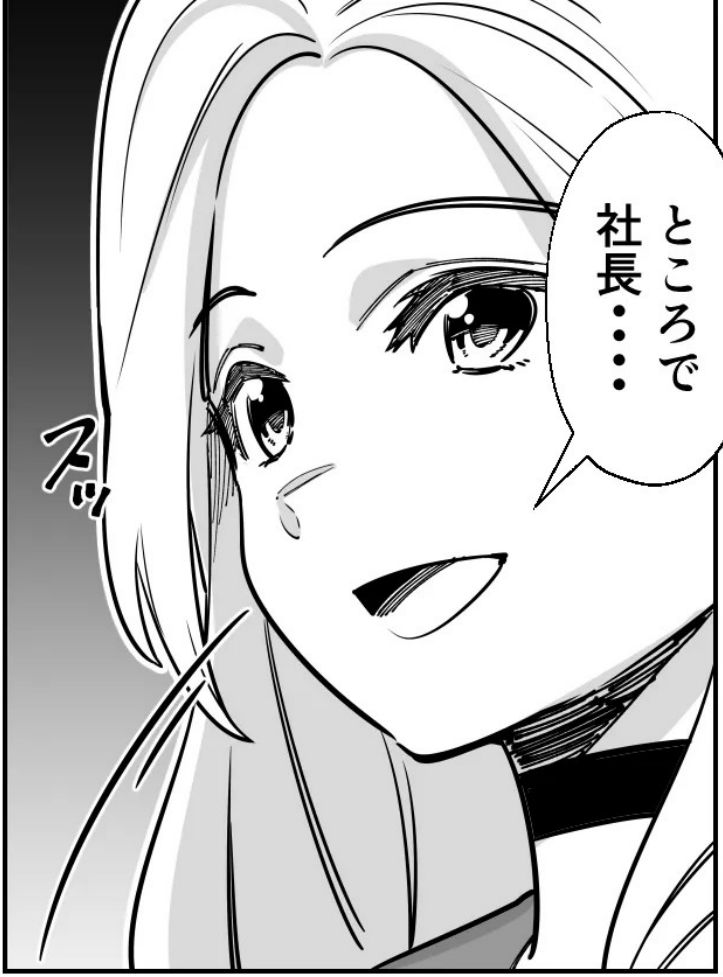
あっ  
ありがとうございます  
.....!





ん？

もしかして何かプレゼントとかあったりして……？



ところで社長……

フッ



そんなこと言いながら実は何か用意してるんじゃないんですかあ？

いやっホントに……っ

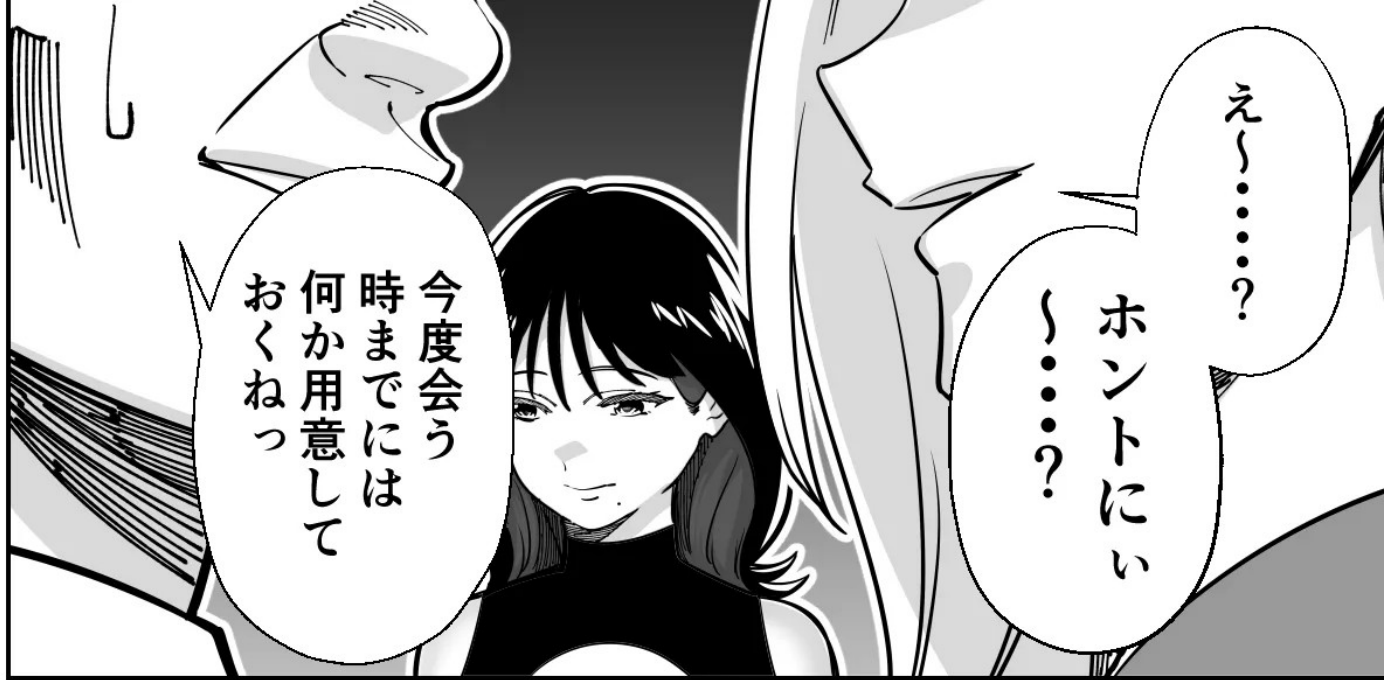
急遽ここに来たから……



！ああそうだね

何か持ってくれば良かったねゴメンっ

ええ……？ホントですかあ……？



今度会う  
時までには  
何か用意して  
おくねっ

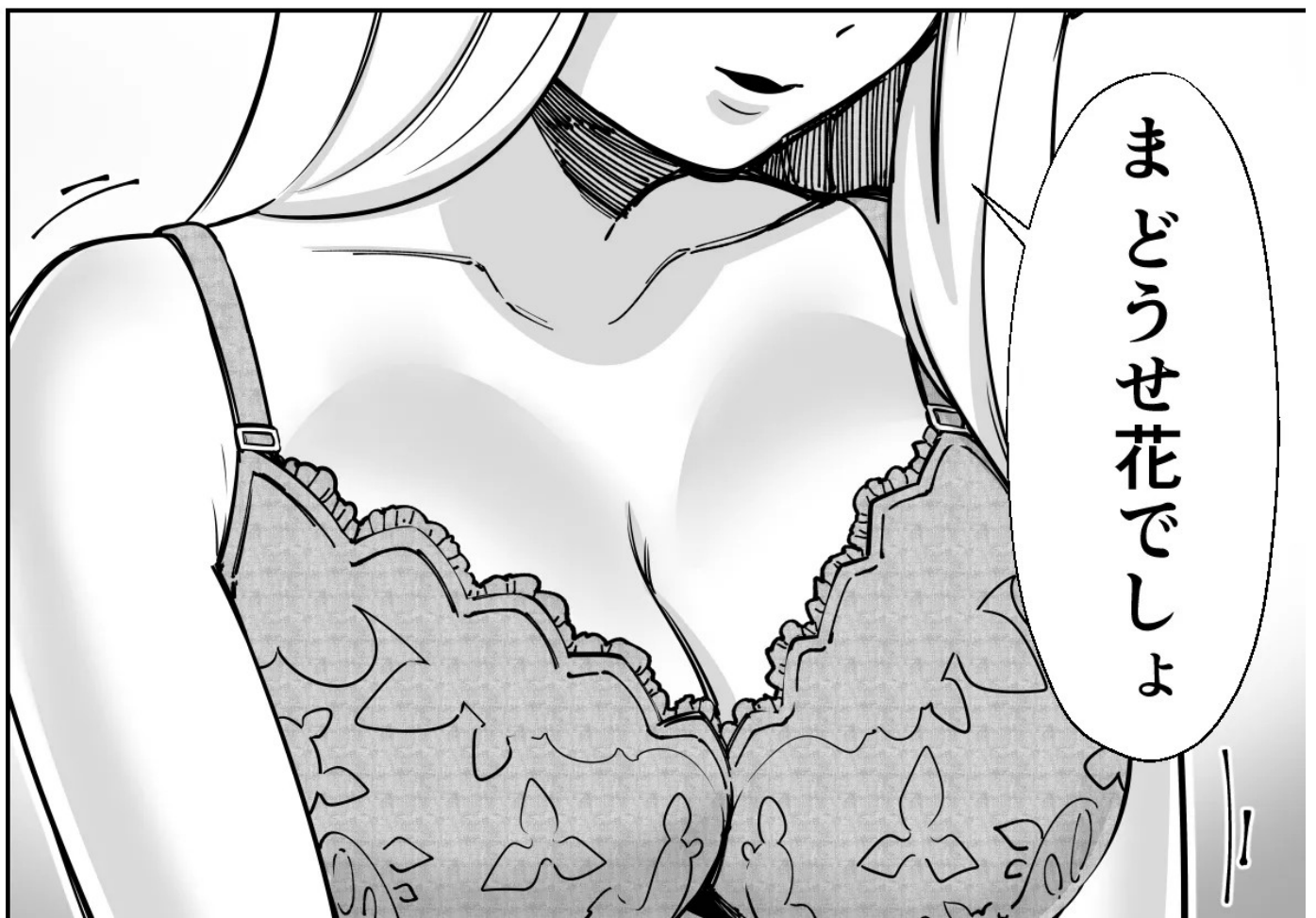
ホントにい  
〜……？

え〜……？



ホントに  
用意してないん  
ですかあ？

だから  
ホントだって  
……っ  
し



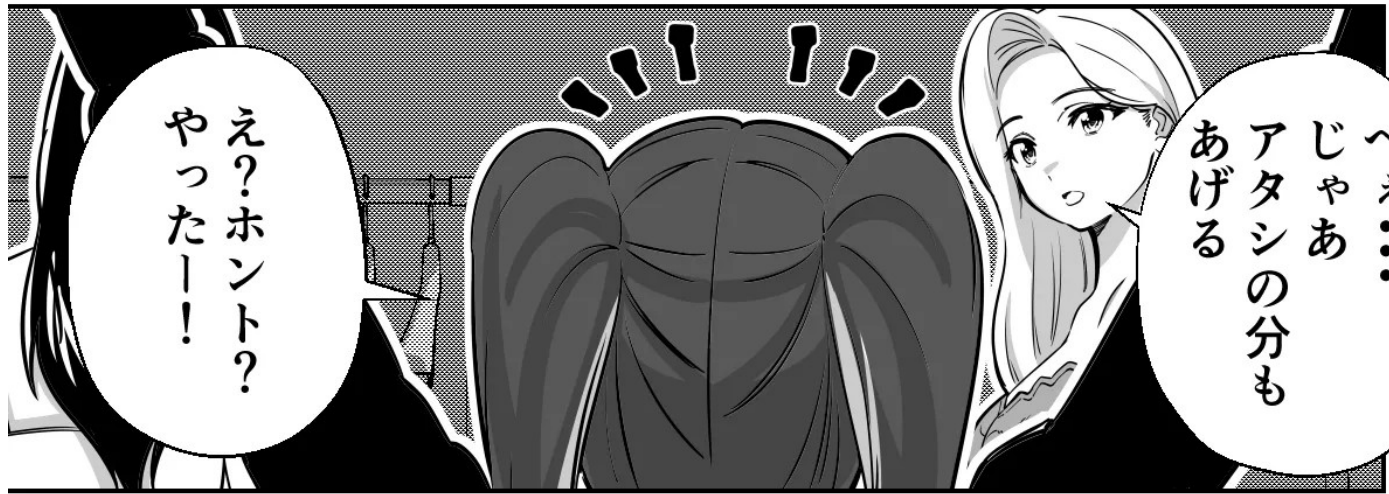
まどうせ花でしょ



社長いっつも  
花だもんねえ  
……

マイは  
花好きだよ??

去年も  
そうだったし  
この前最優秀賞  
貰った時も  
そうだし



へえ……  
じゃあ  
アタシの分も  
あげる

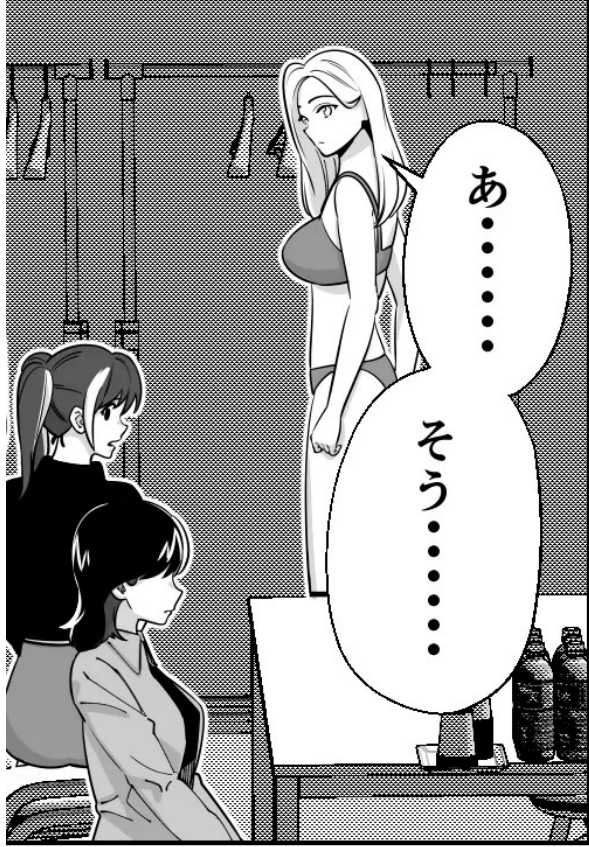
え? ホント?  
やったー!



あシアは?  
シアも  
花好きだった  
よね?

どうせ量も  
多いし良かったら

いやっ



あ……

そう……



いい……  
……私は



社長って  
ハーバード  
大卒なんだって



あハルカ  
社長と  
言えばさ  
知ってた？



へえ？  
そうなんだ？

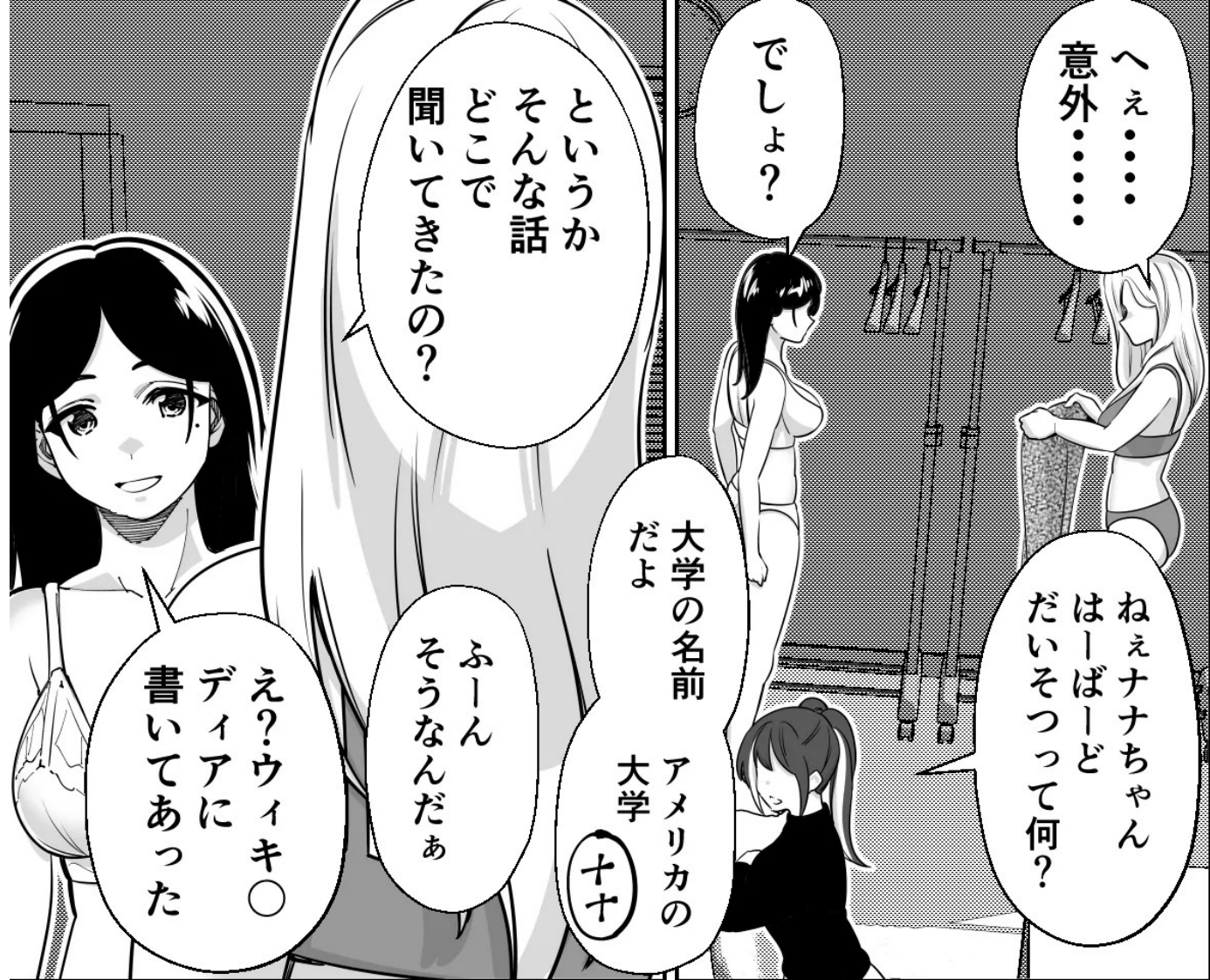
はーばーど  
だいそつ  
って何？

そうそう  
それも  
事務所やる前は

すごい有名な  
外資系の  
コンサルに  
勤めてて

はーばーど  
だいそつって何？

めっちゃ優秀  
だったんだって



へえ……  
意外……

でしょ？

というか  
そんな話  
どこで  
聞いてきたの？

ねえナナちゃん  
はーばーど  
だいそつって何？

大学の名前  
だよ  
アメリカの  
大学  
十十

ふーん  
そうなんだあ

え？ウイキ○  
ディアに  
書いてあった



あ……でもさ

だったら何で  
芸能事務所  
やることにな  
るワケ？



え？社長の  
ウイキ○ディア  
なんてあんの？

うん  
事務所のこと  
調べてたら  
出てきた

それが  
よくわかん  
なかつたん  
だよね……

よく  
わかんない？

うん  
そこだけ  
何も触れられて  
ないって言うか  
……

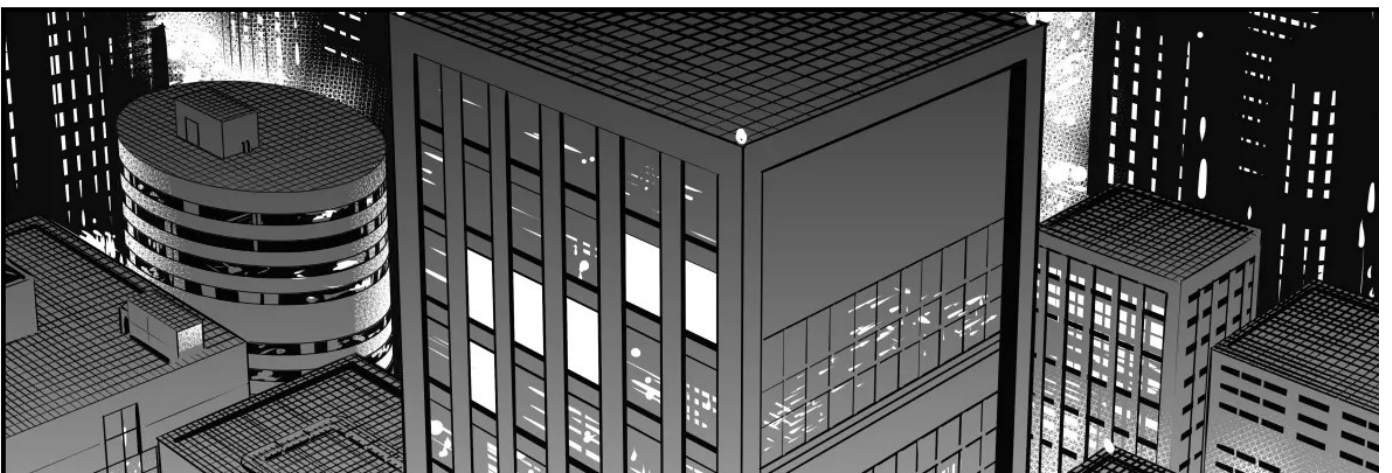
そこ以外は  
やたら詳しく  
書かれて  
たんだけど

へえ……

もしかして  
何かめっちゃ  
ヤバイ裏事情が  
あるとか？w

裏事情って  
なによ？w

いやわかん  
ないけどw



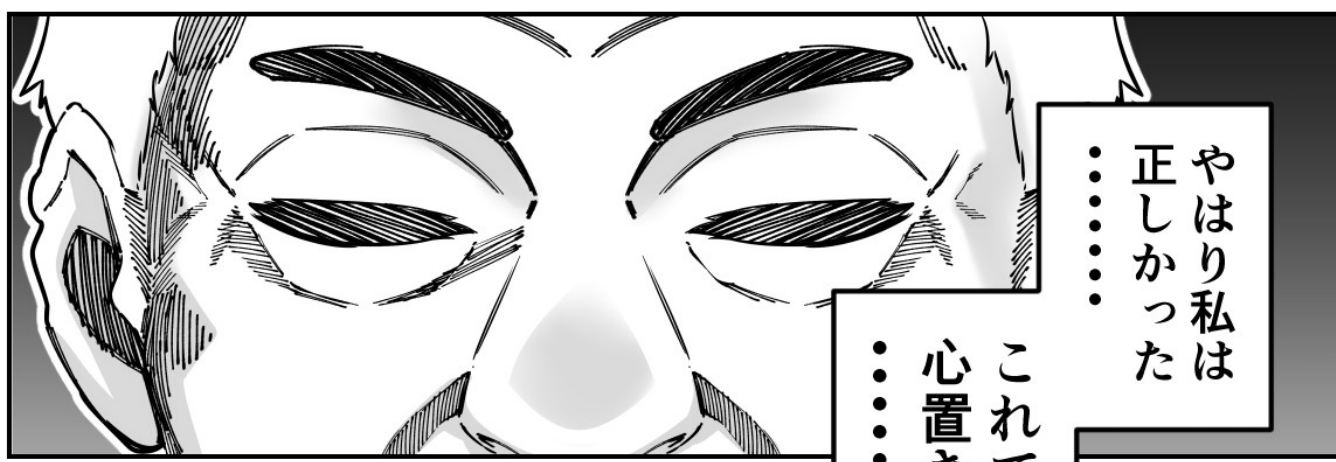
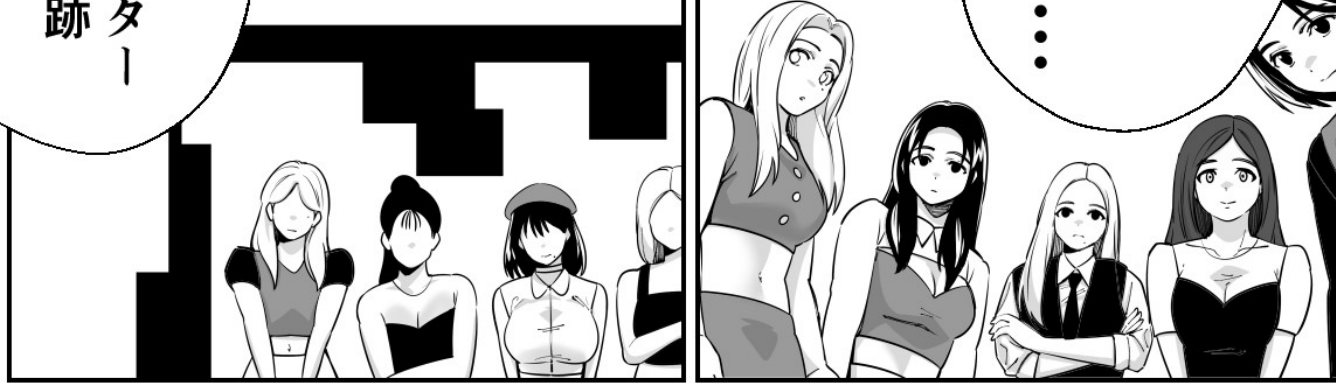
...se、世界のトップスター

グループ Ecl

人気ナンバー  
グループ  
Eclipse  
圧巻のステージ……

Eclipse  
世界のトップスター  
になるまでの軌跡  
……

……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……



やはり私は  
正しかった  
……

これで  
心置きなく  
……

ガヤ

あ社長

「夢見るアイドル計画」

珍しいですね  
こんな時間まで  
事務所にいるなんて

ああ……

ちよつと  
調べ物をね

何かお手伝い  
できること  
ありますか？

いやっ大丈夫……  
今終わった所  
だから

そうですね

……じゃあ  
すみませんが  
お先に失礼します

ああお疲れ様

じゃあ  
そろそろ  
私も行くか  
.....

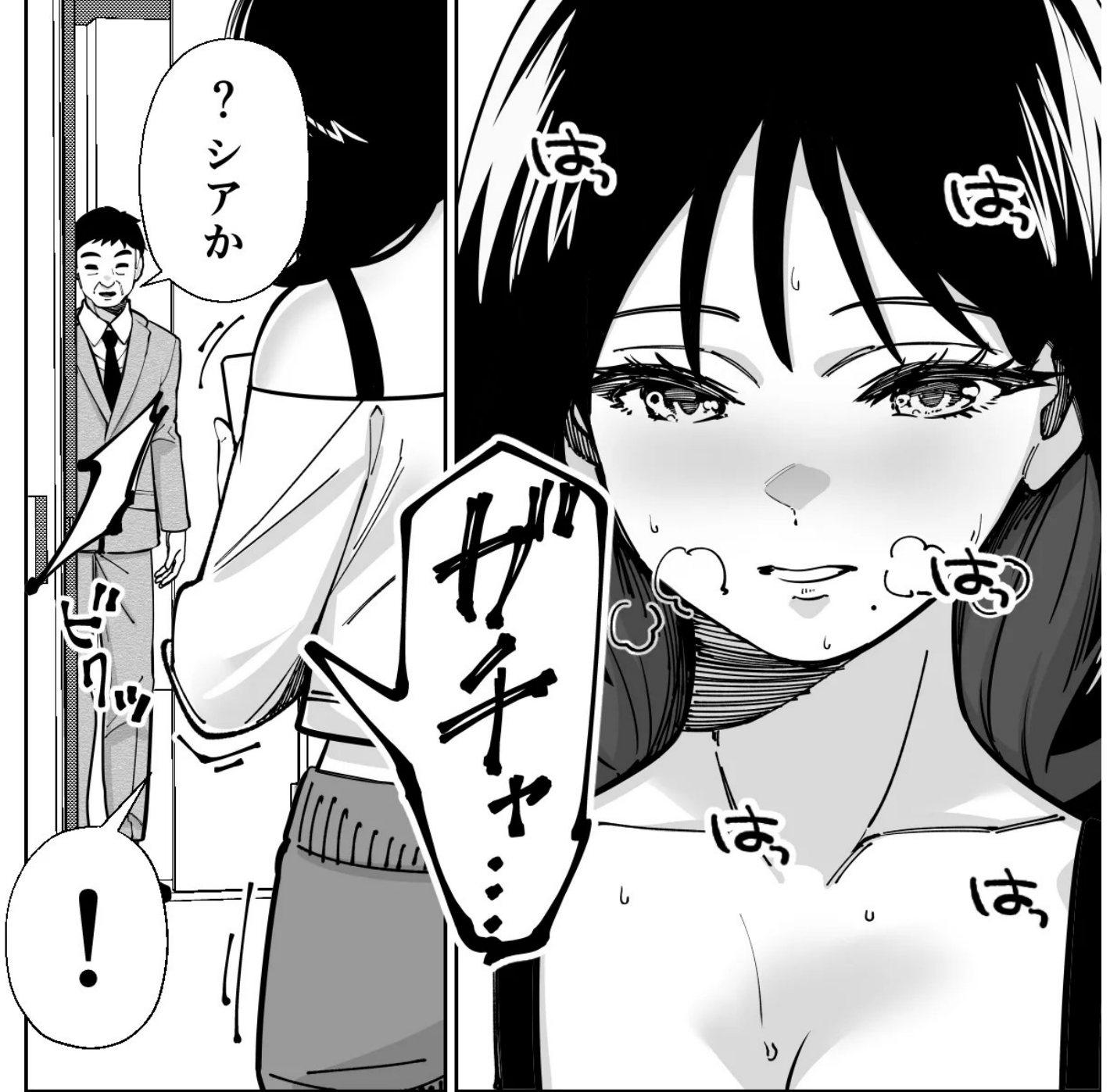
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

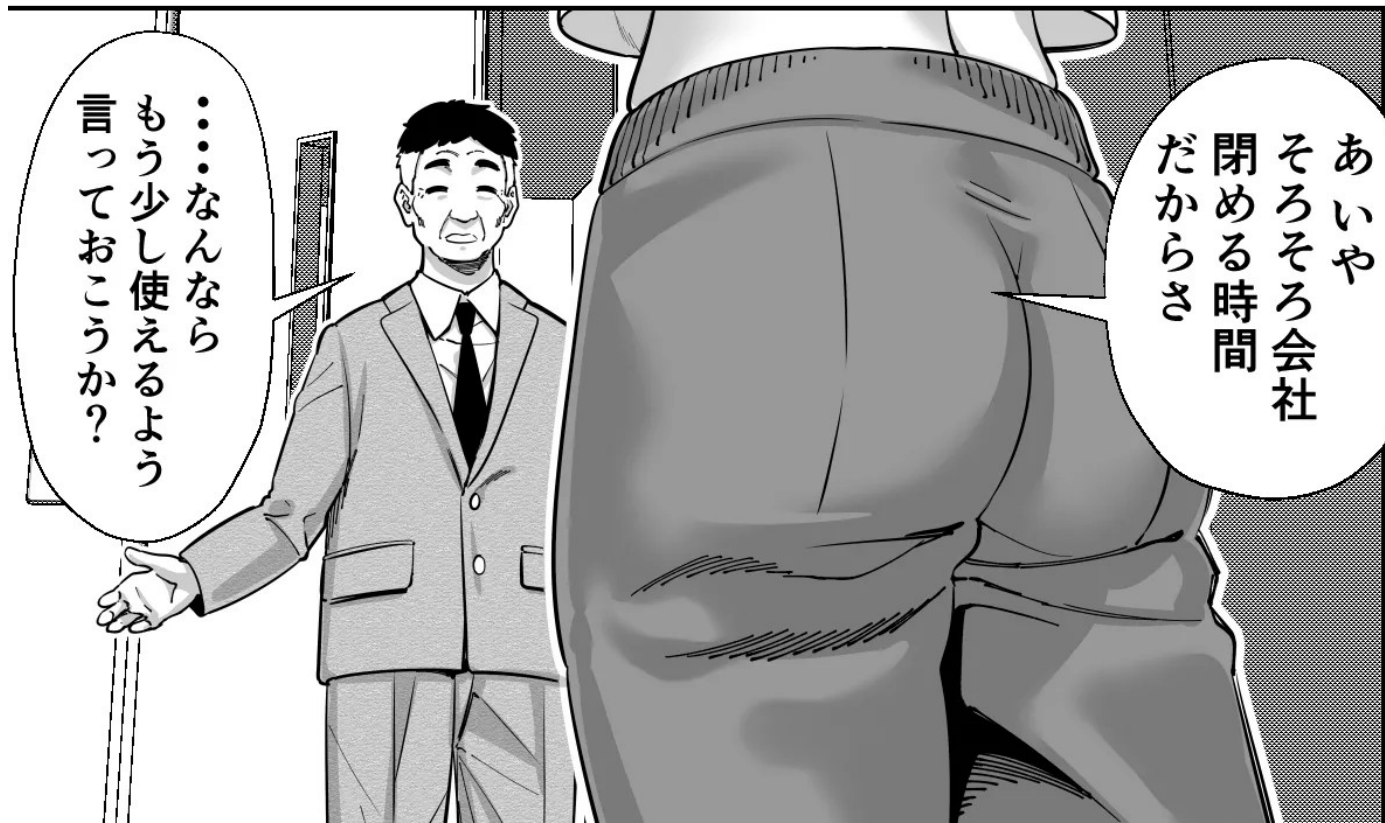
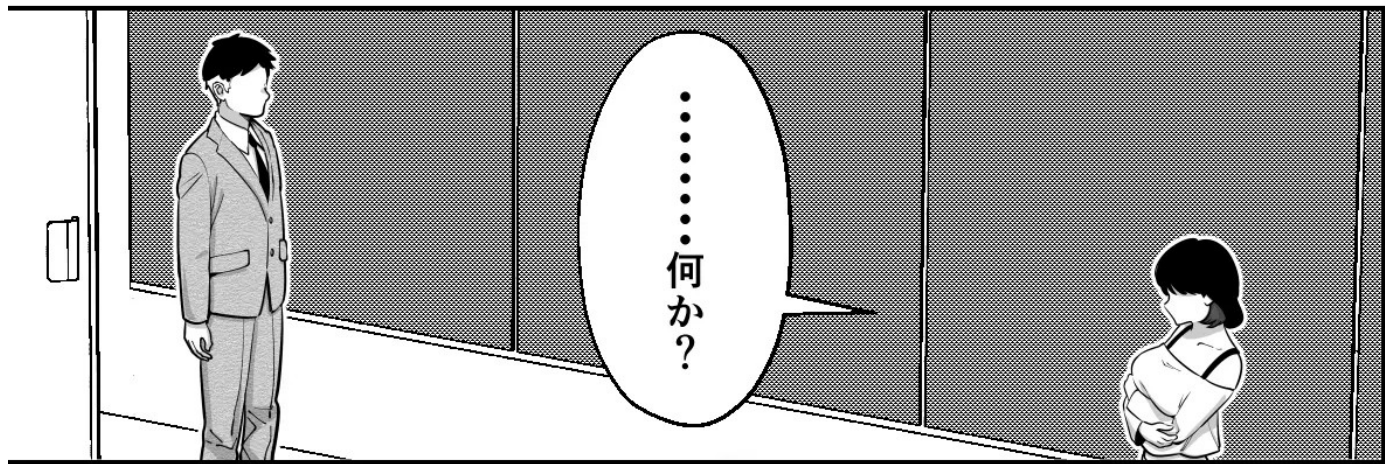
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

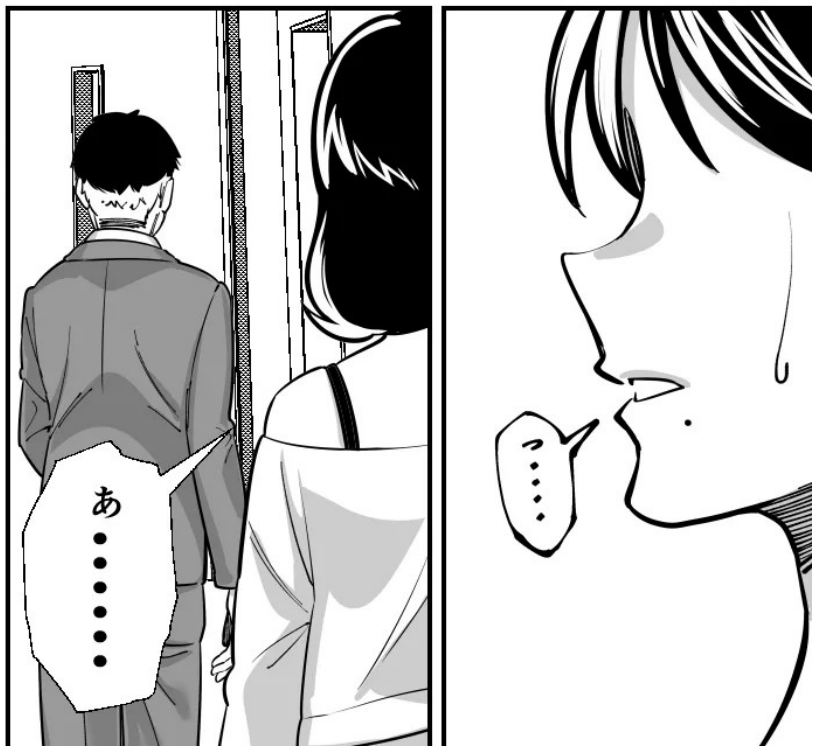
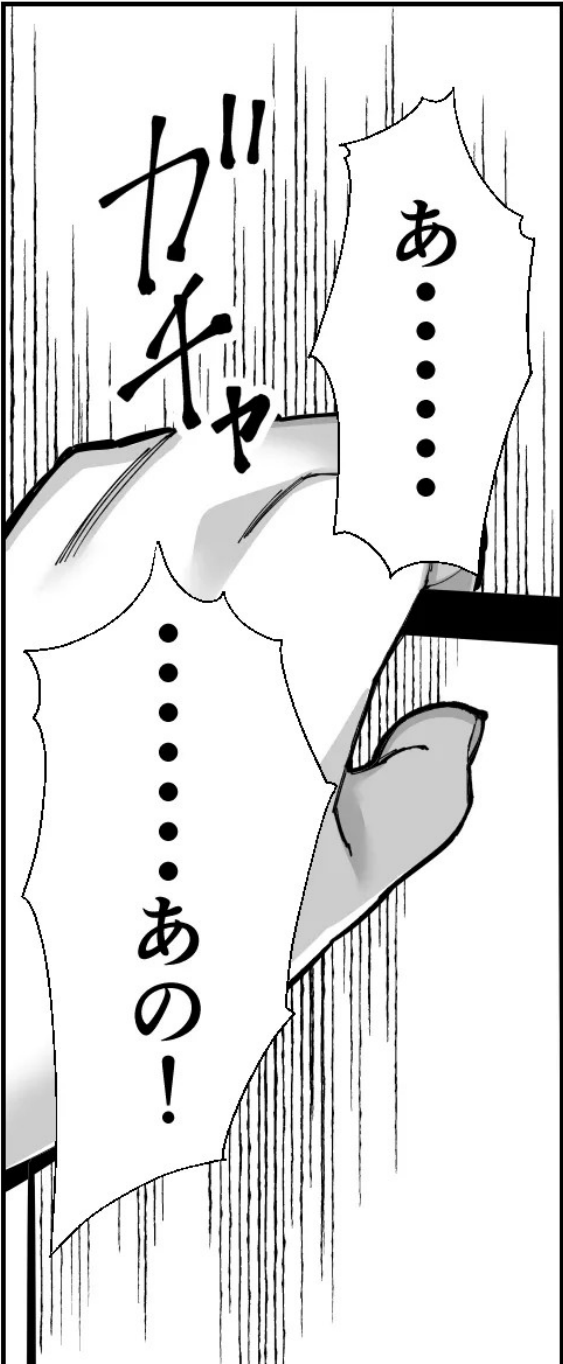
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....





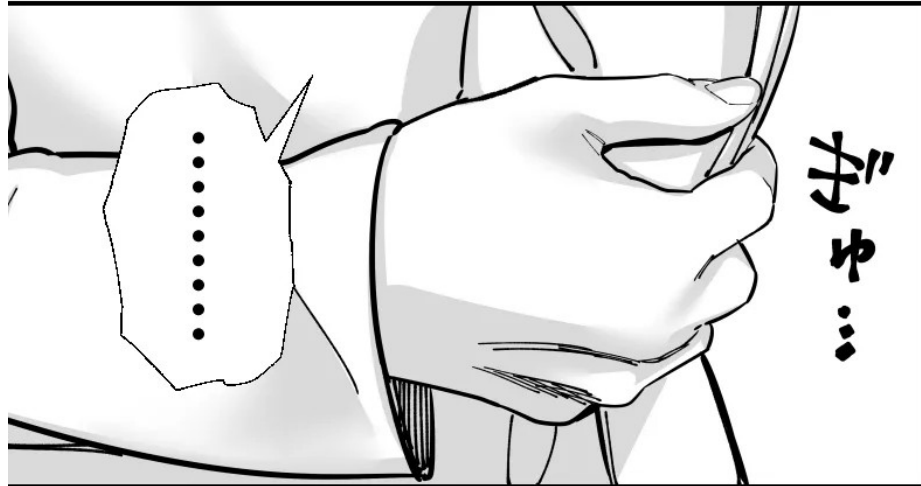




いえっ  
その……



え？



がや……



私たちに……

……何か……

……何か隠して  
ませんか？



……社長……

その……



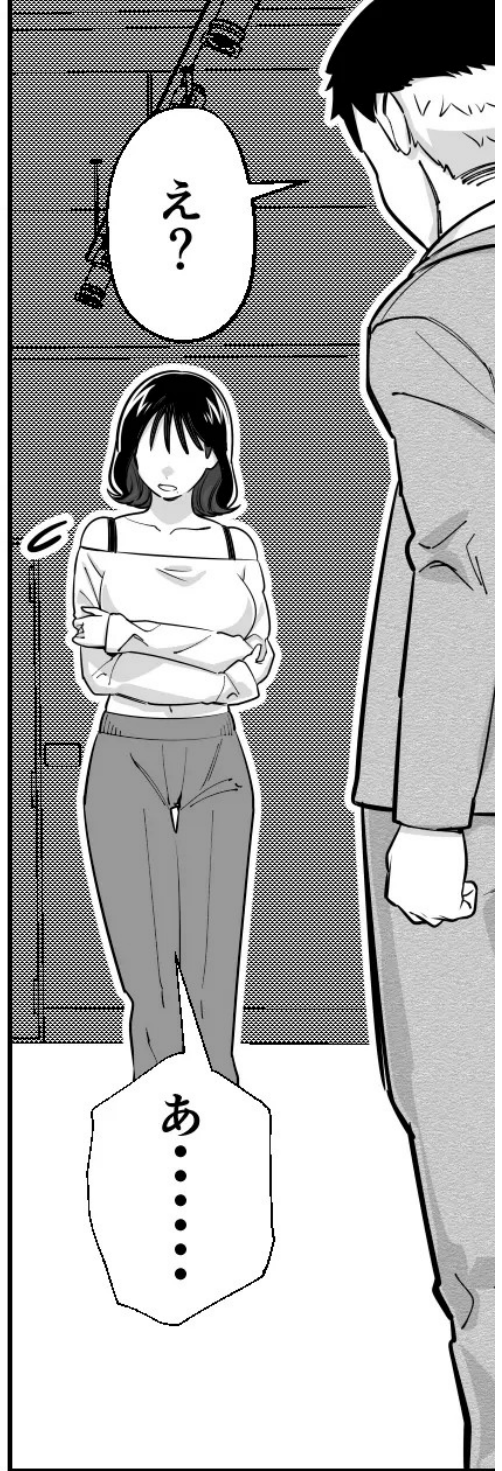
忘れて——

隠してるよ



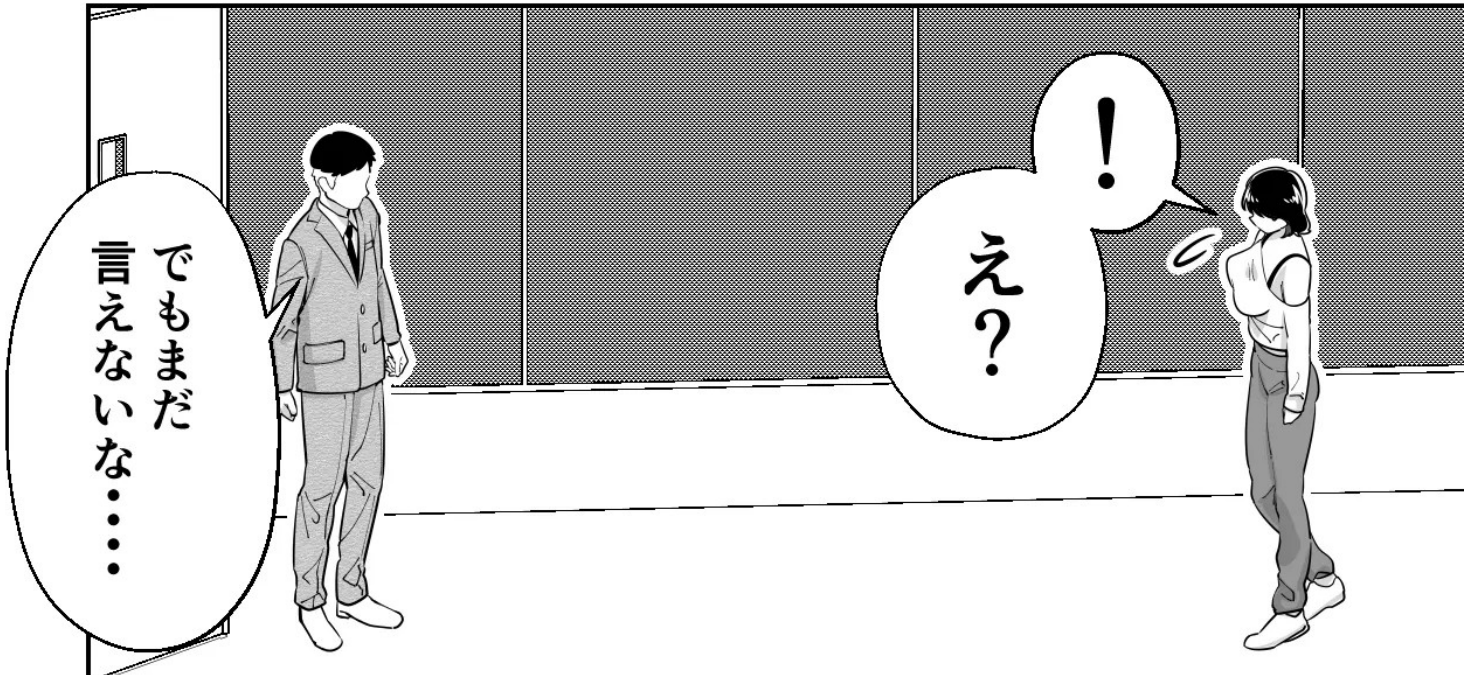
いえ……

何でも  
ありません  
……っ



え？

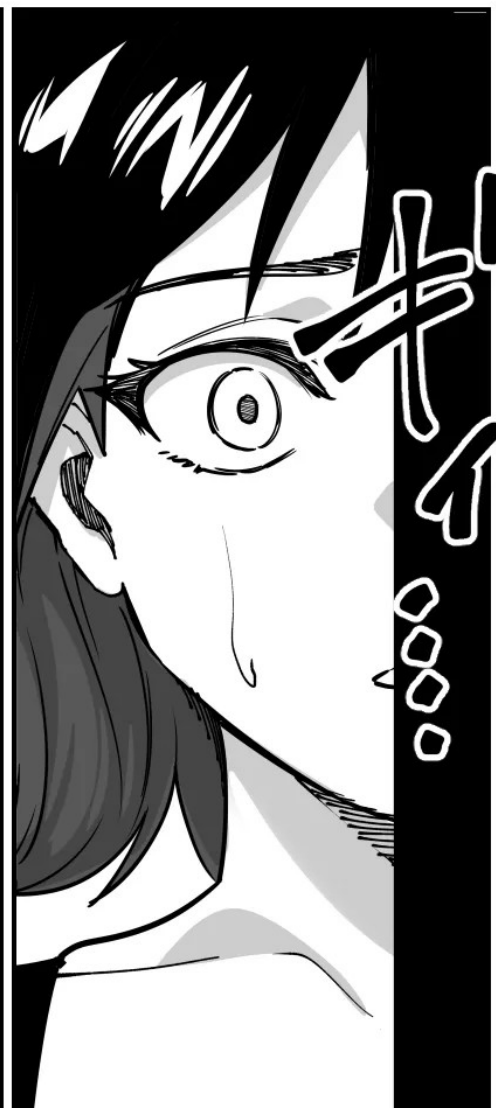
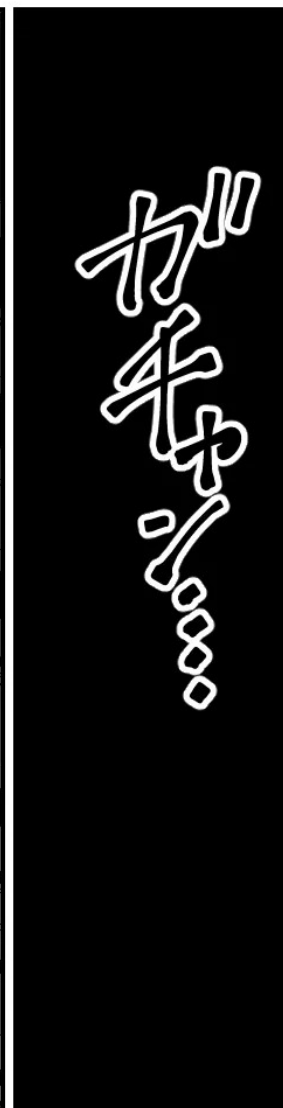
あ……



でもまだ  
言えないな……

え？

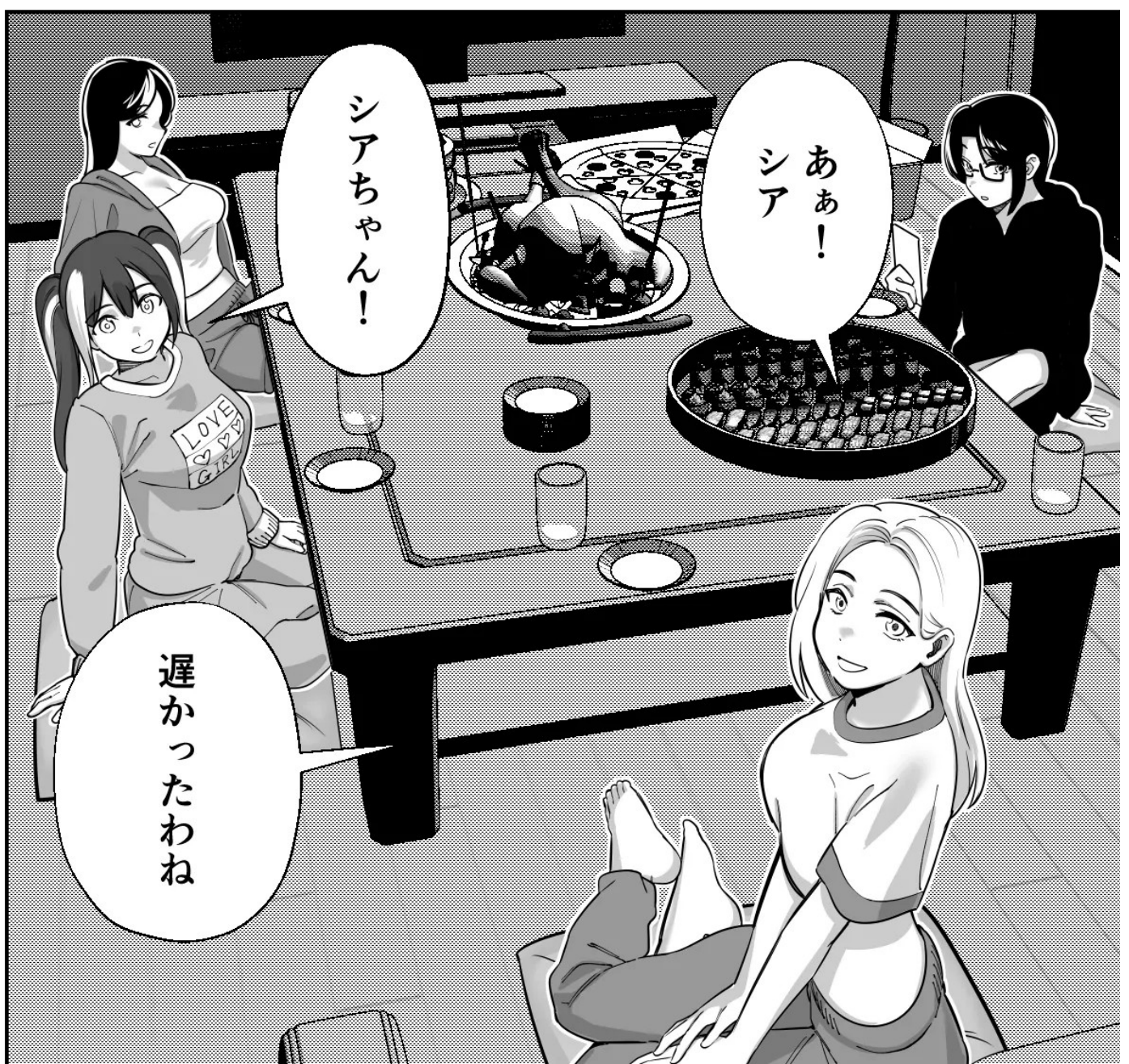
！





何これ……

え？



シアちゃん！

ああ！  
シア

遅かったわね

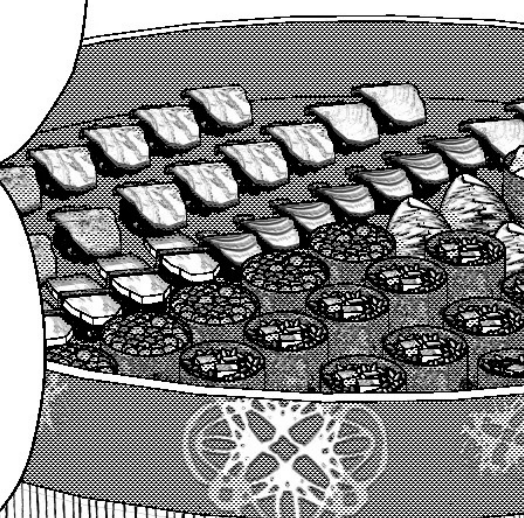
どうしたの？  
これ

ああ……  
なんか社長がさ

3周年記念  
ってことで  
飾り付けと……

あとお寿司とか  
ケーキとか

色々用意  
してくれてた  
みたい



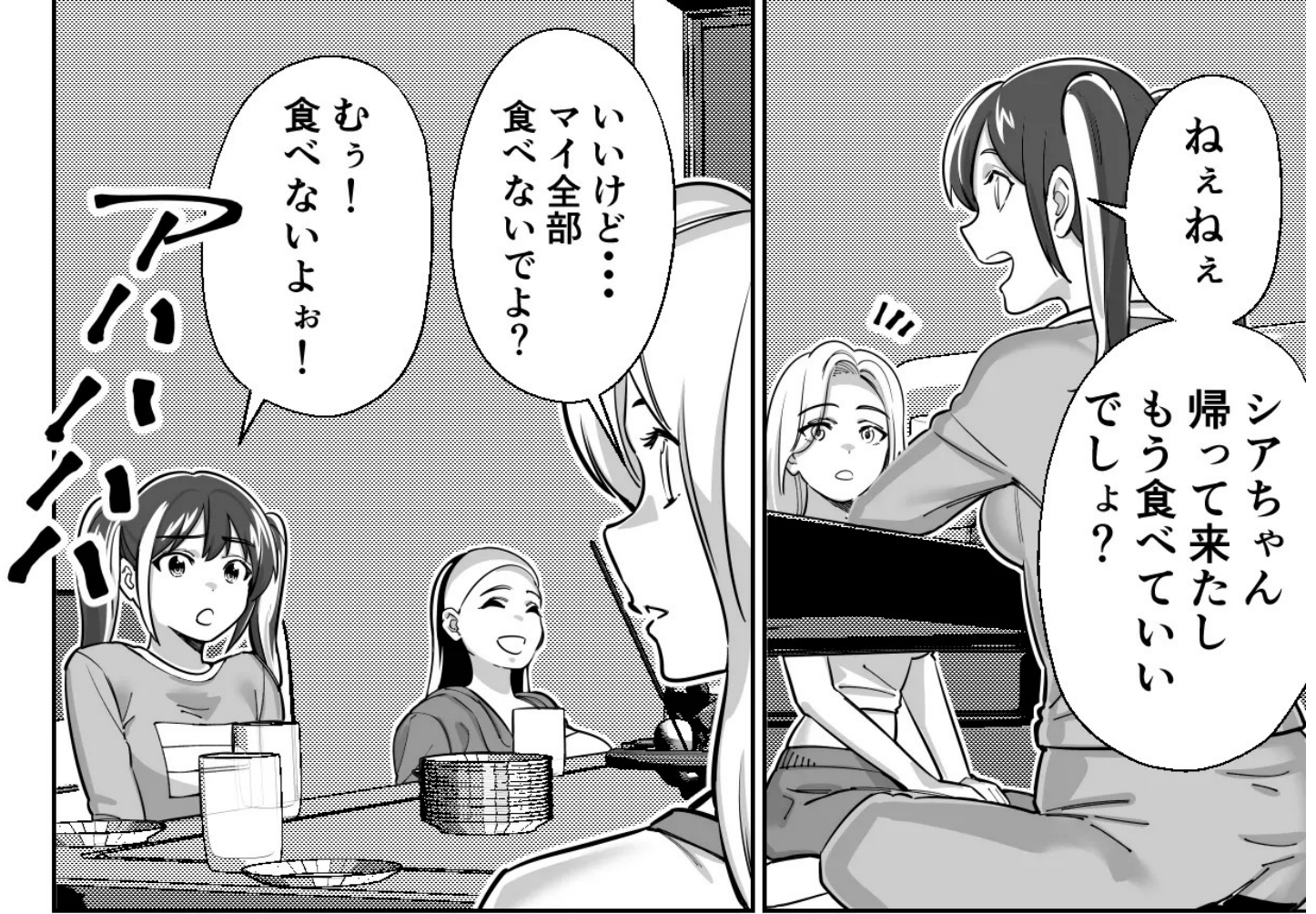
帰ったら  
何かわかる  
かもね

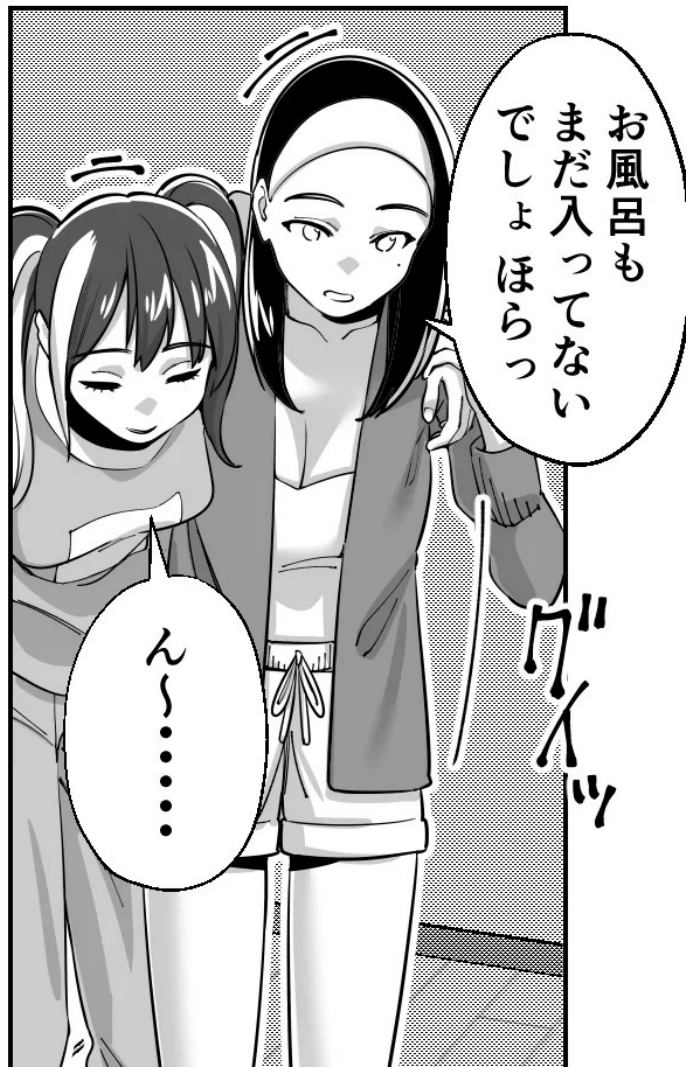
社長も  
意外と気が利く  
よね

こういうので  
いいんだよ  
こういうのでさ

確かに……  
結局こういう  
のが一番嬉しい  
かもね









片付けは  
私とナナが  
やっとくし

うん

いや  
大丈夫……



アタシも  
今日は妙に  
眠いな……

ふいふい……

ハルカも一緒に  
お風呂入って  
きたら？

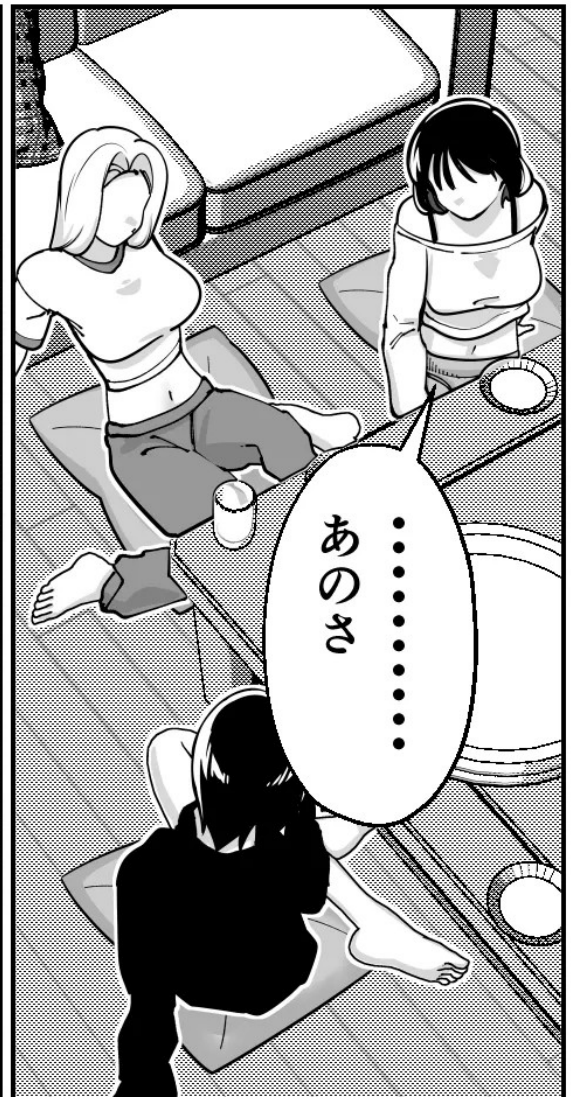


え？

なんか  
あった？



……つか  
それより  
アンタさ……





社長が  
苦手だったん  
だよね……



……わたし  
正直……

ずっとその……



怖いとか  
何とか

ああ……  
言ってたね  
そういや  
まだデビュー  
し立ての頃に

え？怖い？  
どこが？  
社長の？



え？社長？



いや……  
その怖いというか

その……



聞いたんだ  
会社で  
……

?聞いた?

そう……

結構昔の話  
なんだけど  
……


まだ前のオフィス  
だった時ね……



私がダンスの  
練習で遅くまで  
残って  
その帰りに……

事務所の扉が  
開いてるのが  
たまたま見えて


一応  
閉めておいた  
方がいいかなって  
扉を閉めようと  
したら……



真っ暗な部屋の  
中でほんのり  
明かりが見えたの

よく見たら  
社長が居て  
.....


パソコンを  
食い入るように  
見てた



たった一人で  
しかもこんな  
真っ暗な中何して  
るんだろうと  
思っ

少し怖く  
なっただけ  
一応挨拶し  
ようか  
と思っ

社長が一言  
呟いたの  
.....



Eclipse.....  
遂に始まったぞ.....

私の夢.....  
私の計画が.....



社長の顔が  
……でもその時の

忘れられなくて  
……



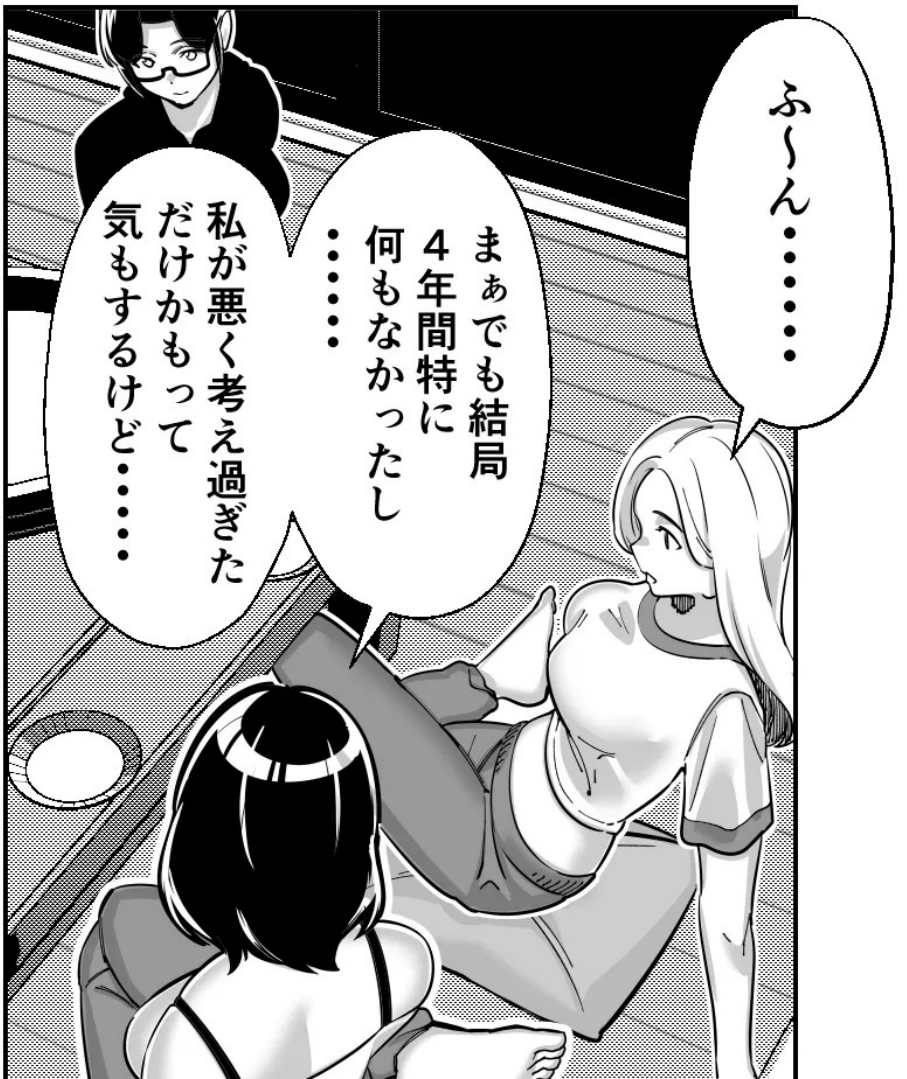
?……  
それだけ?

いやまあ……  
それだけって  
言われたら  
それだけ  
なんだけど……



……そうかな?

ホッ



ふん……

まあでも結局  
4年間特に  
何もなかったし  
……

私が悪く考え過ぎた  
だけかもって  
気もするけど……

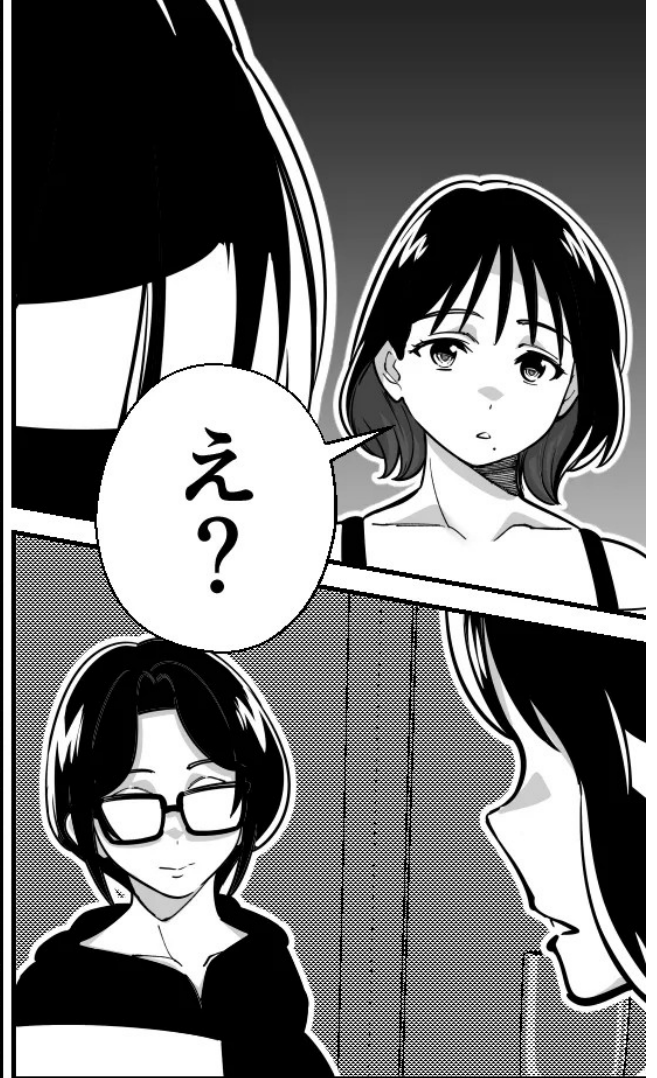


……ま  
いんじゃない？  
別に

アンの  
疑り深いのは  
今に始まった  
ことじゃないし

なんせ  
このメンバーは  
抜けてるのが  
多いからさ

そういうのが  
一人はいないとね



え？



わかった  
わかった

もうっ



可愛いよ♪  
シアちゃん♥

ちよつと……！  
フザけないでよ  
私は真剣に――



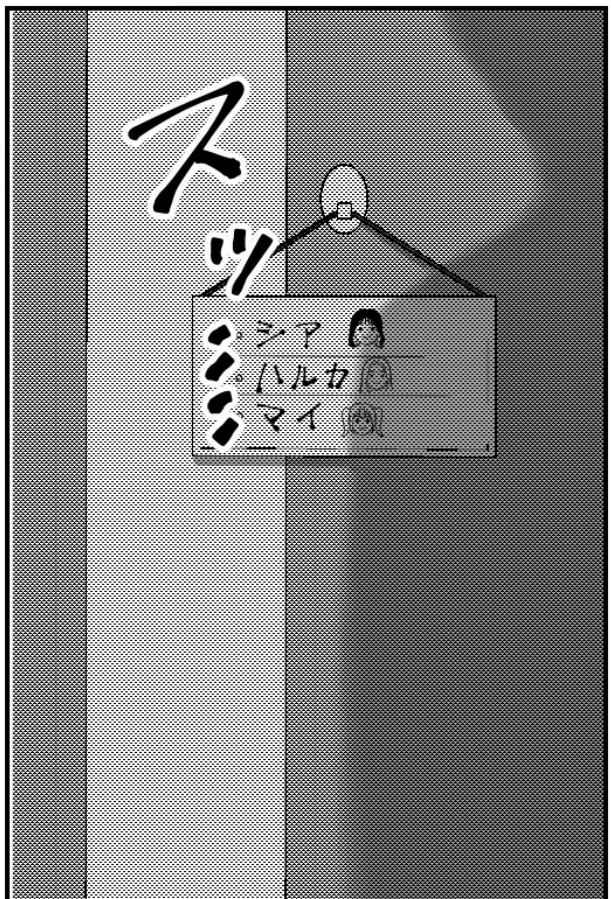
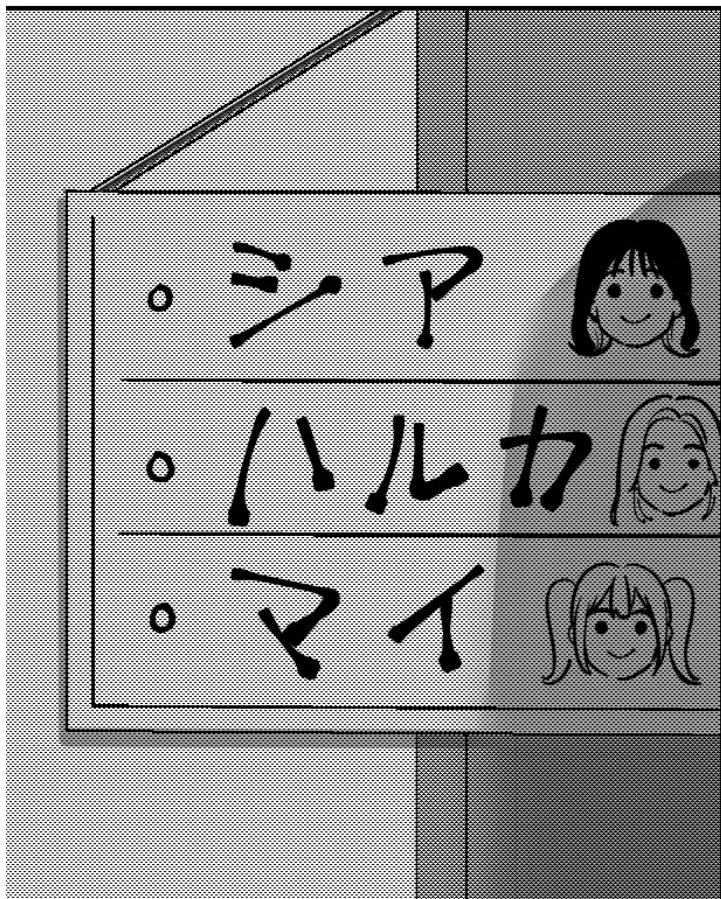
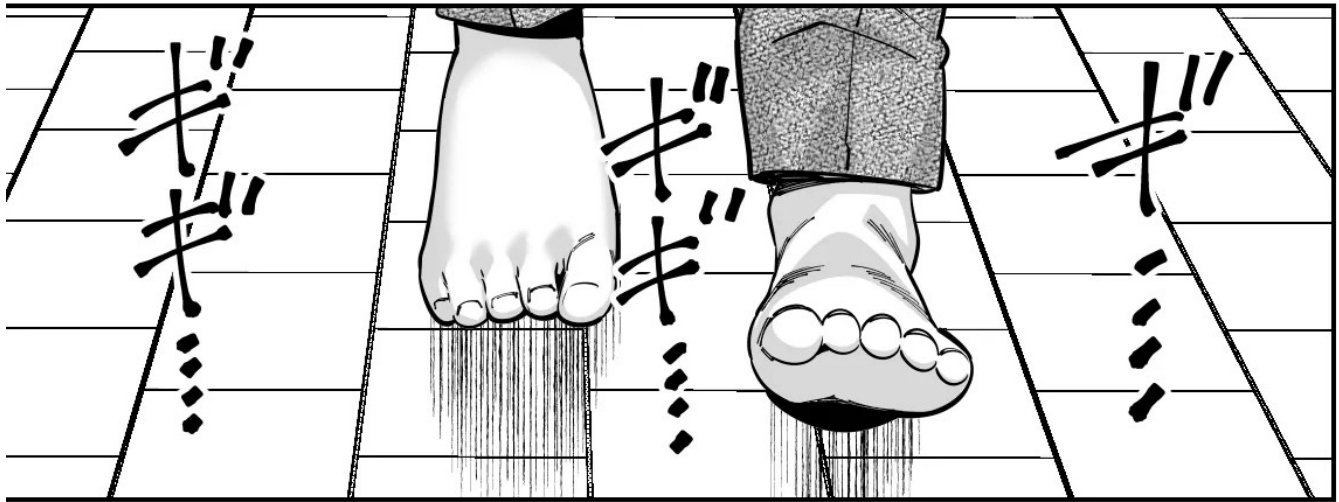
それって  
褒めてる？

褒めてるに  
決まってる  
でしょ？

……何？  
私に褒めてほしい  
のか？ん？

いや  
じゃなくて――







フフフ……  
3人ともよく  
眠っている……

さすが  
超強力な  
不眠治療薬  
……


アメリカから  
わざわざ  
輸入した甲斐が  
あったな  
……

フフフ……

流石に私も  
かなり興奮  
している  
ようだ……


……まあ無理も  
ない……






遂にこの計画の  
最終段階に  
入れるん  
だからなア……!


そう



私は数々の  
事業を成功させ



それはまだ  
芸能事務所を  
経営する前



私が大手外資系  
コンサルに  
勤めていた時の  
話

業界では  
知らない者は  
いないと  
言われるほど  
の人間で



まさに  
フィクション上の  
エリートを

地で行くような  
存在だった



そんなある日  
ある芸能事務所から  
立て直しの相談が



ある一人の  
女性が同席  
していたのだが



その初めての  
打ち合わせ

その時だ

初めて女性に好意  
というものを  
抱いたのは――



彼女は言わば  
事務所一押し  
のタレントで

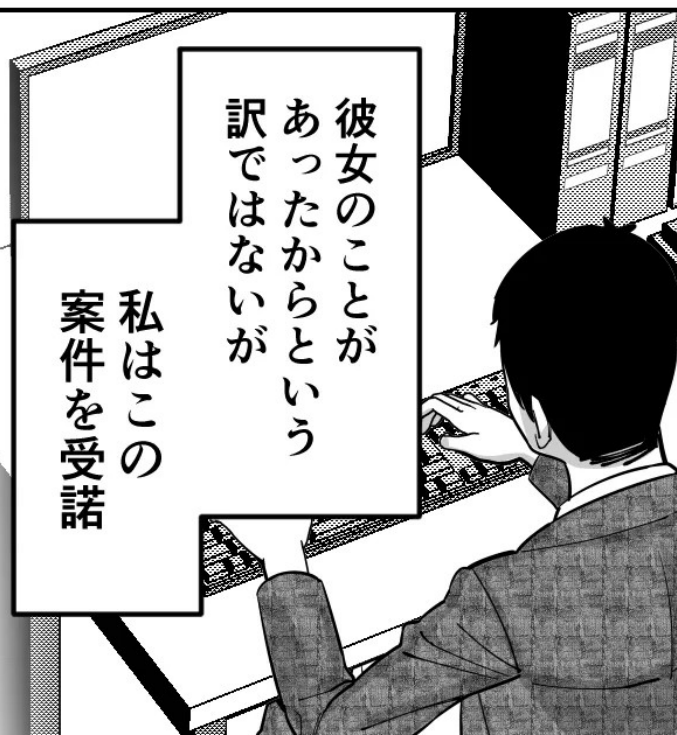
先日ソロデビューが  
きまったばかりの  
新人アイドルだった



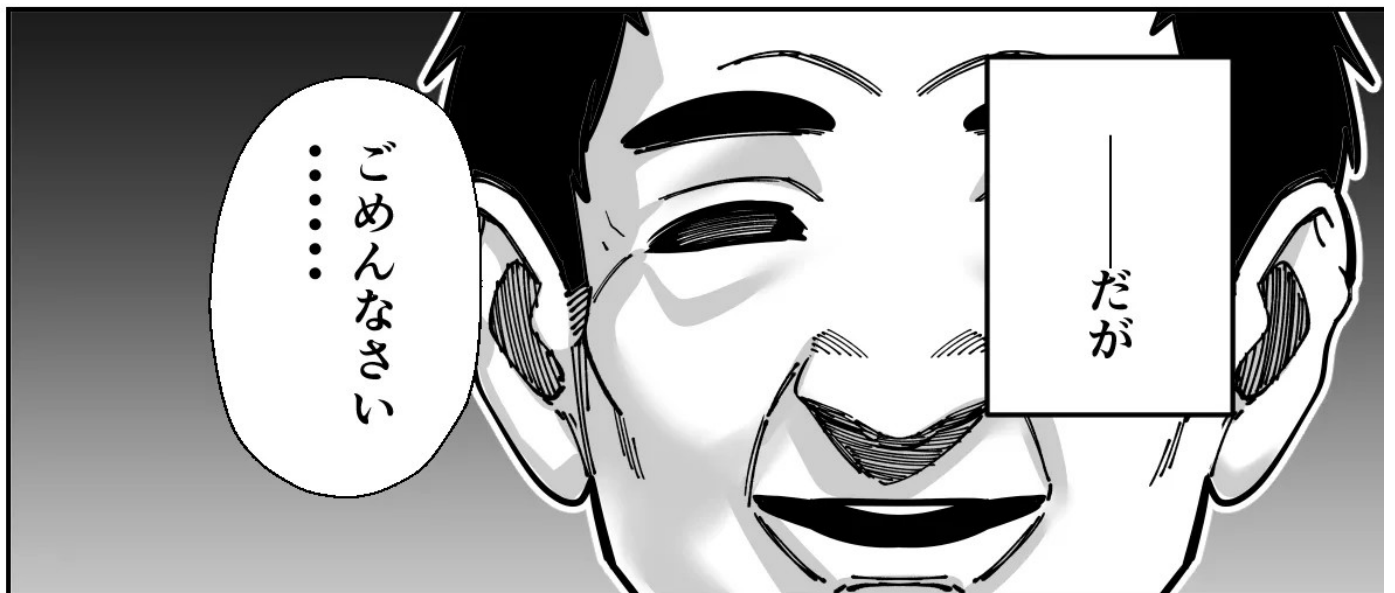
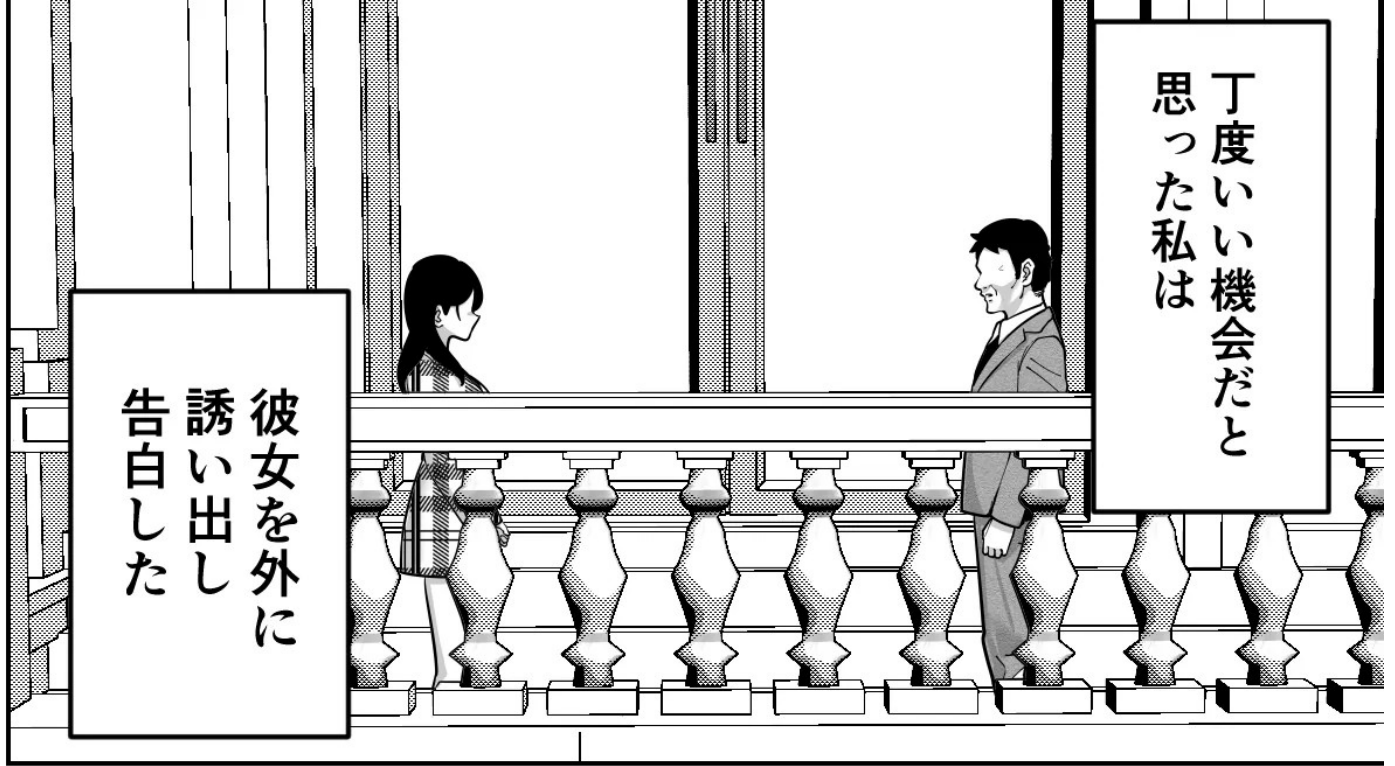
彼女のことが  
あったからという  
訳ではないが

私はこの  
案件を受諾

いつも通り  
次々に画期的な  
再建案を実行  
していった





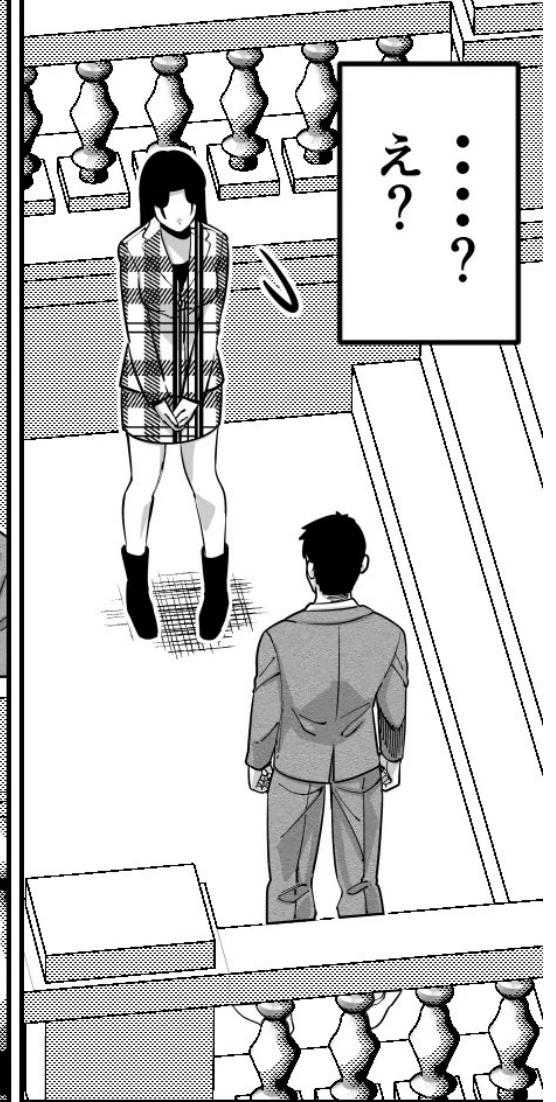




私が……？



フラれたのか  
……？  
今……？



……？  
え？



じゃあ  
そのっ  
すみません  
……  
失礼します……



おーい  
ユツキー  
どこいったー？

まさか……  
嘘だろ……？  
そんな……

あっ



この私が  
フラれる  
……?  
……?

あり得ないだろ  
……  
……  
……



相手はたかか  
アイドルだぞ  
……?  
……?

本来なら  
一生手が  
届かないほどの  
エリートだぞ?  
私は……  
……



なのに  
どうして……?  
……



それに会社を  
救ってやった  
恩まである……  
……

……いや  
違う……

違うんだ

そうじゃない

アイツが……

「アイドル」  
だからだ

本来なら私とは  
一生関われ  
ないような

実績も実力も  
何もないような  
人間にも関わらず

周囲の人間に  
持て囃されることで

まるで自分が

「価値のある人間」

だと勘違いして  
しまっような環境に  
いつもいる

「アイドル」なんて

仕事をしてるから

あんな「勘違いした」

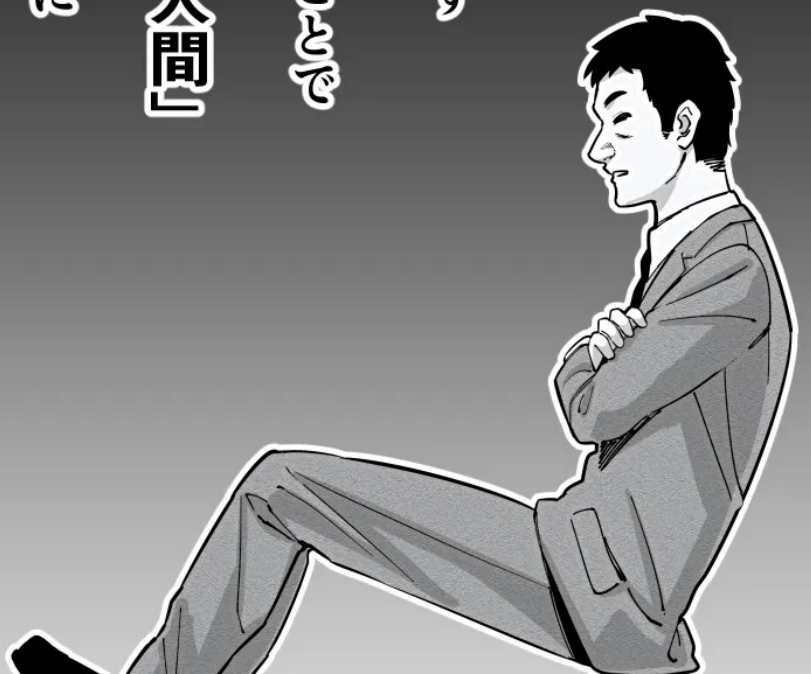
行動を取って

しまっただ

そうだ……

そうに違いない

……!



……でも  
だったら



誰かが  
わからせて  
やらないと  
いけないん  
じゃないか  
……？

本来なら  
何も価値のない

周囲の人間が  
いなければ  
何もできない  
ような人間  
であると  
いうことを

誰かが

わからせて  
やらないと  
いけない  
じゃないのか？

そう……

誰かが



そして私は  
会社を設立し

ISEN

今に至る

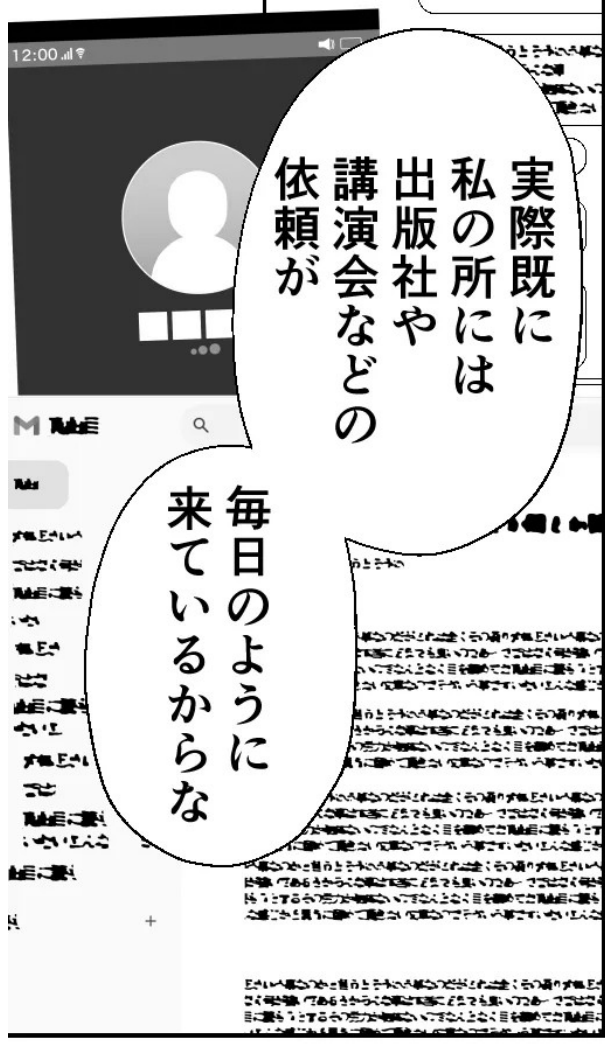
というわけだ

ではなぜ  
そのために  
わざわざ会社を  
設立する必要が  
あったのか？

それには  
2つの理由が  
ある

一つは  
本当にお前たちは  
「ただ作り上げ  
られただけの  
存在」なのだ  
ということ

改めて世間に  
証明した  
かったからだ



実際既に私の所には出版社や講演会などの依頼が

毎日のように来ているからな



門外漢である私が何の伝手もない所から事務所を立ち上げ

貴様らを「トップアイドル」にすることができれば

いずれその経営手法の方に世間の注目が集まる



そういった場において私が「トップアイドルぐらいなら誰でも作り上げられる」と繰り返して伝えていけば

おまえたちが「アイドルが如何に平凡で決して特別な人間等ではないんだ」と

いうことが世間に周知されていくという訳だ

そして  
もう一つの理由

それは――

おまえたち  
アイドル達  
への「教育」だ

いずれお前たちが  
ただの凡人である  
事は公知の事実  
となるだろうが

それと同時に  
やはりお前たち  
自身の意識改革も  
必要だからな

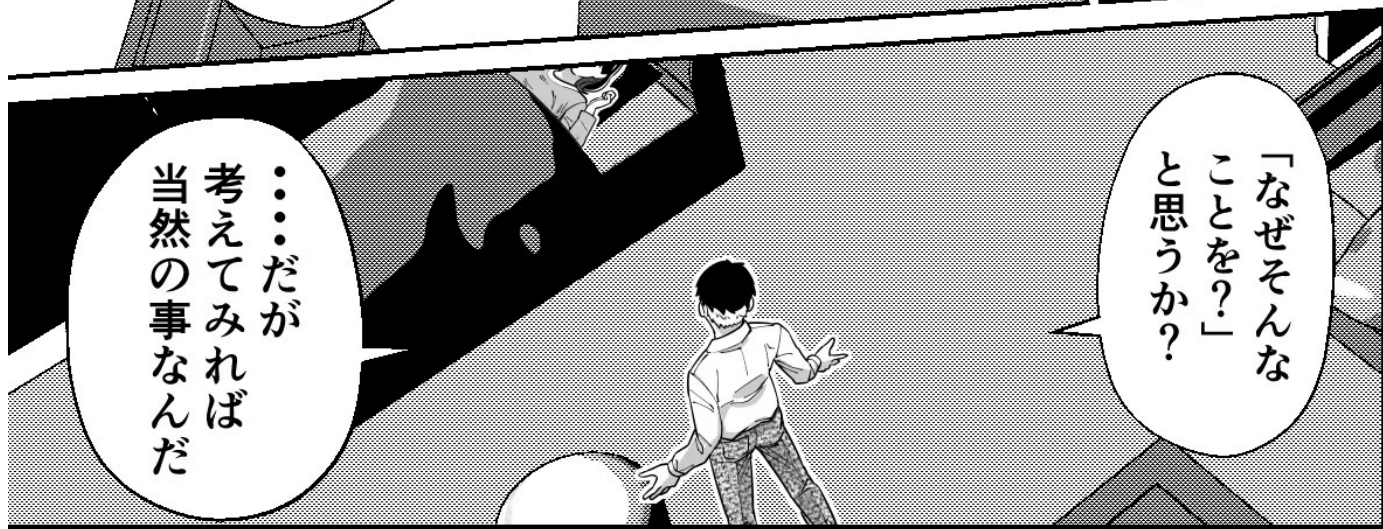
そこで考えた  
方法が――

ニッ  
ッ



おまえたち  
アイドルを

レ○プする  
という方法だ



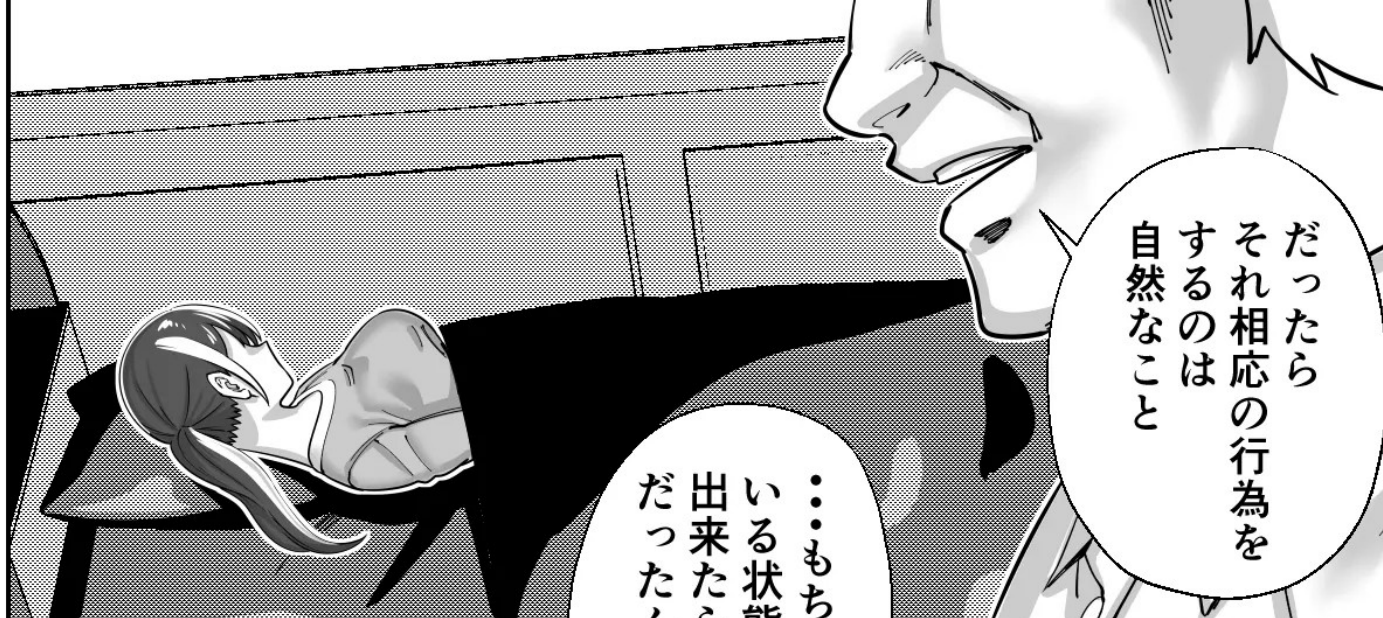
「なぜそんな  
ことを？」  
と思うか？

……だが  
考えてみれば  
当然の事なんだ



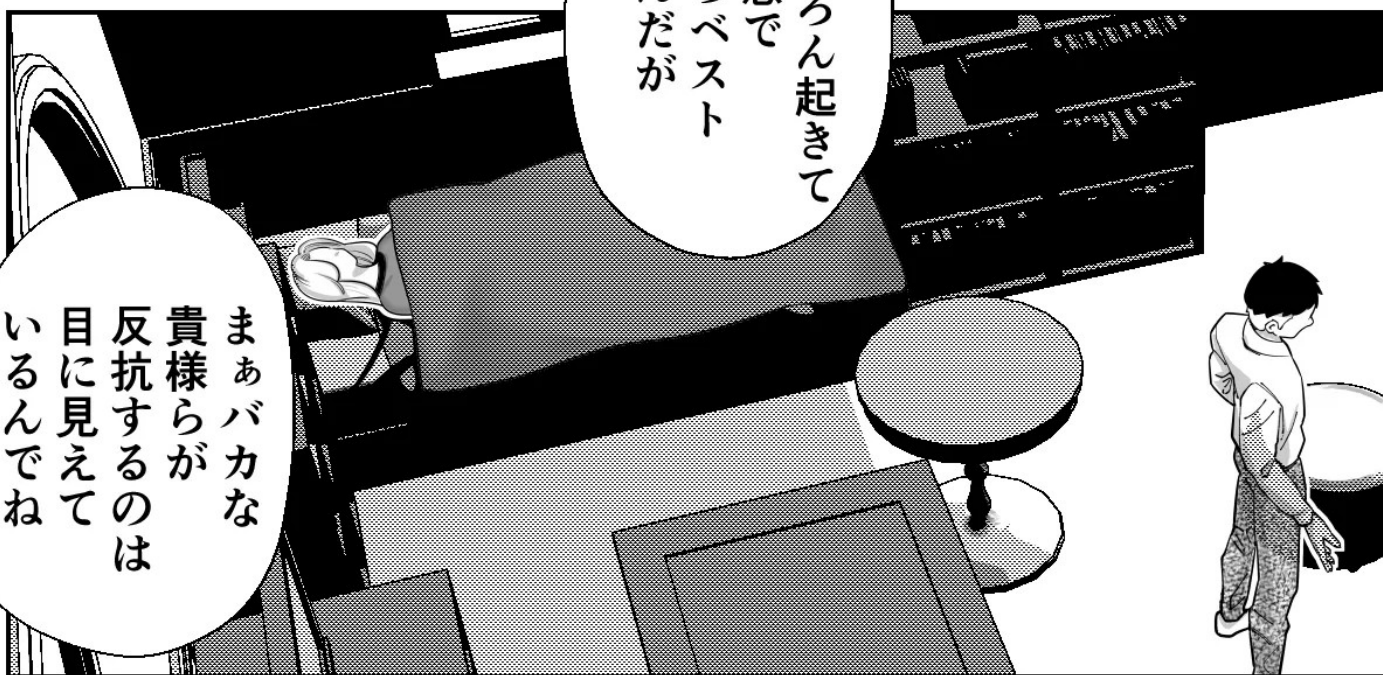
お前たちは本来

ただの慰め者  
程度の存在  
でしかない訳だ



だったら  
それ相応の行為を  
するのは  
自然なこと

……もちろん起きて  
いる状態で  
出来たらベスト  
だったんだが



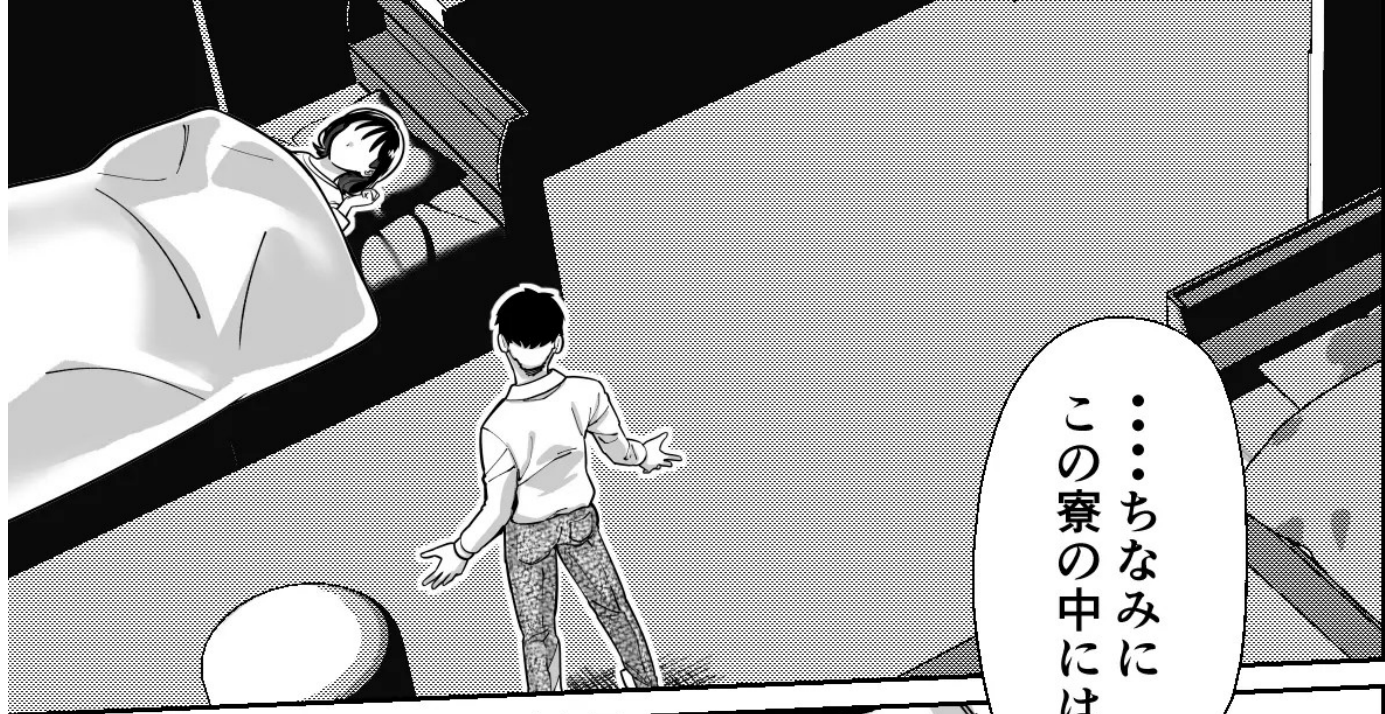
まあバカな  
貴様らが  
反抗するのは  
目に見えて  
いるんでね



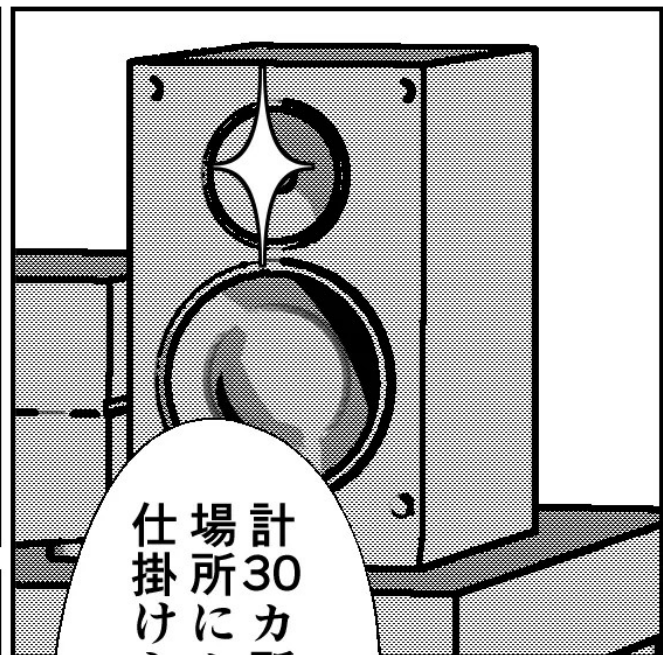
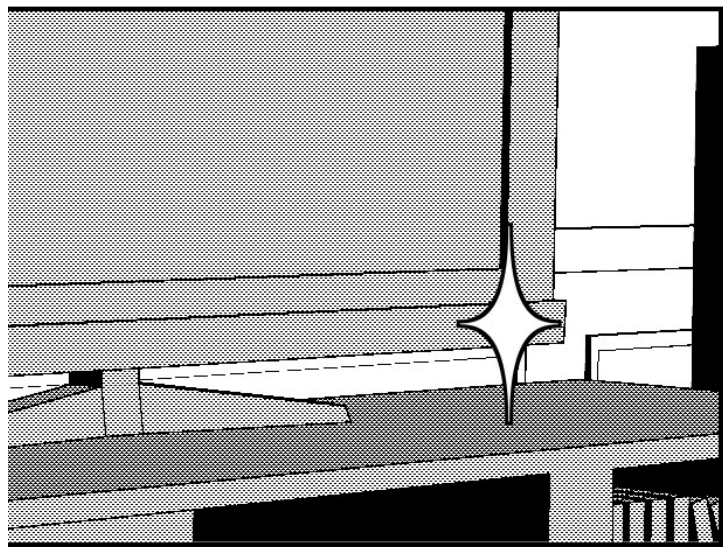
とりあえず  
「体」にだけでも  
わからせて  
おいてもいいん  
じゃないか  
と思った訳だ

どうだ？  
素晴らしい  
計画だろう……？

クククク……

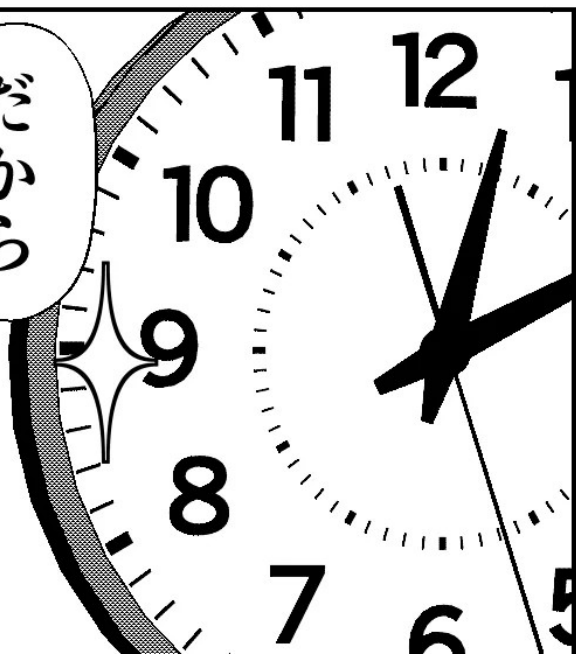


……ちなみには  
この寮の中には



計30カ所もの  
場所にカメラが  
仕掛けられている

だから



お前たちの  
生活の全てを

お前たち

しっかり  
把握しているよ?

シア  
お前が偶にトイレで  
「イケないこと」  
をしているのモナ?

クククク……

ふー

きゅん

きゅん

は

すま

カバ

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん


きゅん

きゅん

きゅん

ちゅん





……さあ前置きが  
随分長くなって  
しまったが

そろそろ計画の  
最終フェーズに  
入ろうか  
……！



貴様らの  
体に……

徹底的に  
「教育」  
してやる  
……!!!



まずはハルカ……

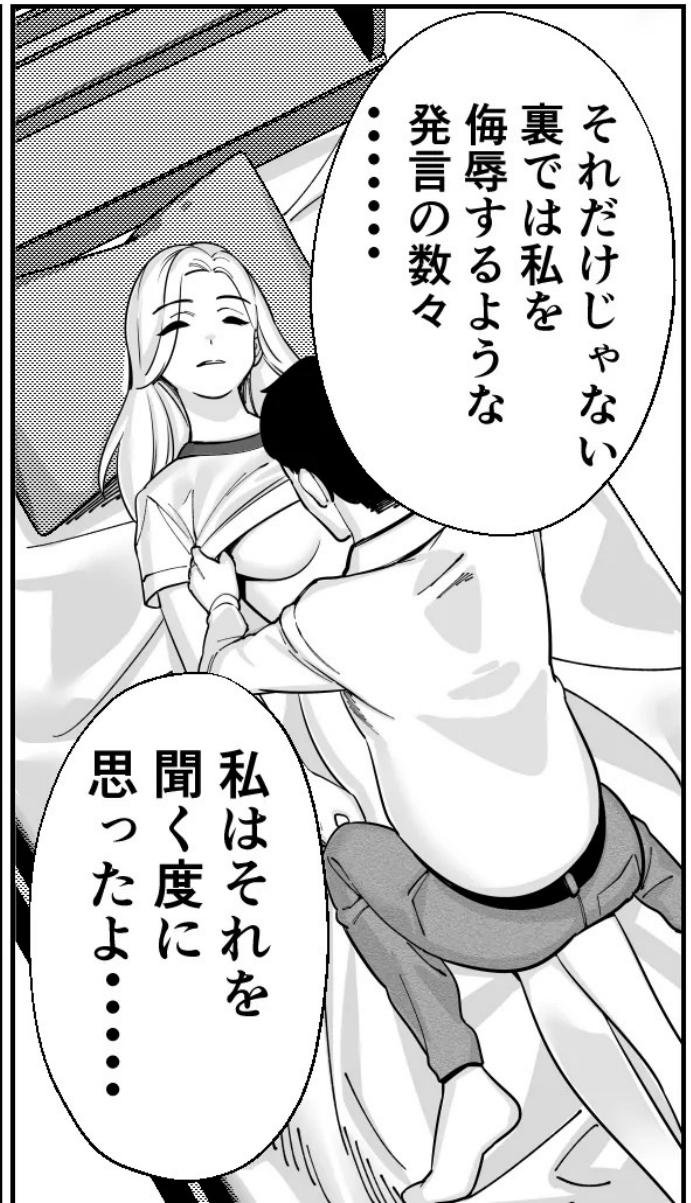
お前は私に  
対して常に  
馴れ馴れしく

いつもどこか  
小馬鹿にした様な  
態度を取って  
いたなあ？



実に「教え甲斐」の  
あるアイドル  
だとな？

フハハハッ



それだけじゃない  
裏では私を  
侮辱するような  
発言の数々  
……

私はそれを  
聞く度に  
思ったよ……

おお……っ

やはり生で見ると  
迫力が違うな  
……ッ!  
すばらしい  
成長具合だ……!

ん

ん

ん

ああ……!

想像通りの  
柔らかさ……ッ!

……!  
いいねえ

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん  
ん  
ん



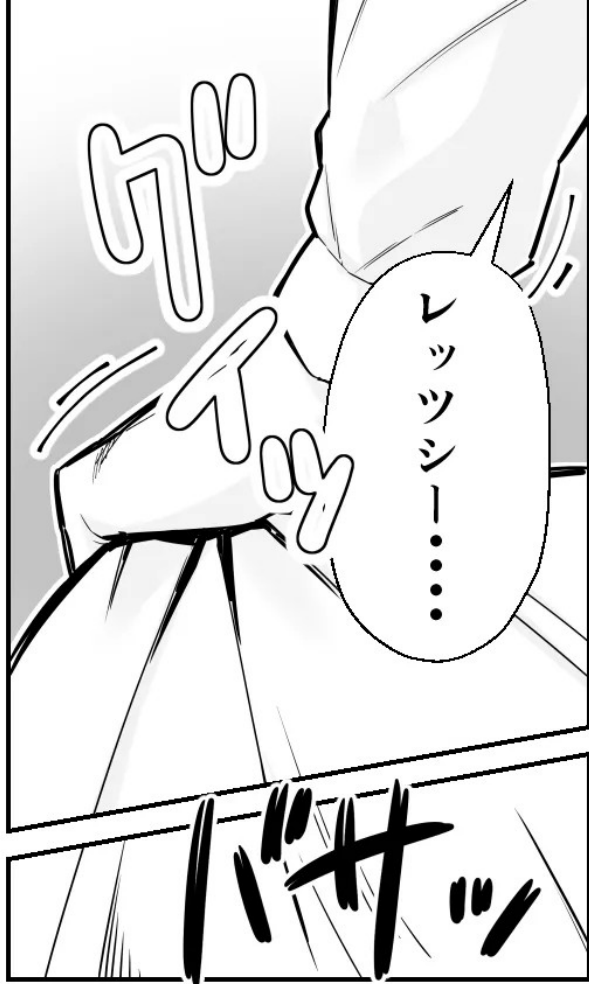
着飾っては  
いても  
ひん剥けば  
中身はただの  
メス…!

どれだけ  
非日常を生き



それが  
お前らの正体  
なんだよッ!

フハハハハッ!



純粋無垢なマイ  
...

こんなことを  
するのは少々  
気が引けるが  
計画に例外はない

何より  
遅かれ早かれ  
お前もまた  
この穢れた世界に  
染まり

「勘違い」して  
しまう日が  
来るだろう...

だから  
その時まで

せめて  
体にだけでも

しっかり  
わからせ  
「教育」で  
やらないと  
なア……!

フハハハハッ

うーん……!  
やはりザ貧乳!

まさに  
幼児体型  
だな……!



張りは  
すばらしい  
……ッ!

だがこの  
肌のキメと



実に教育し甲斐の  
ある体だ……!

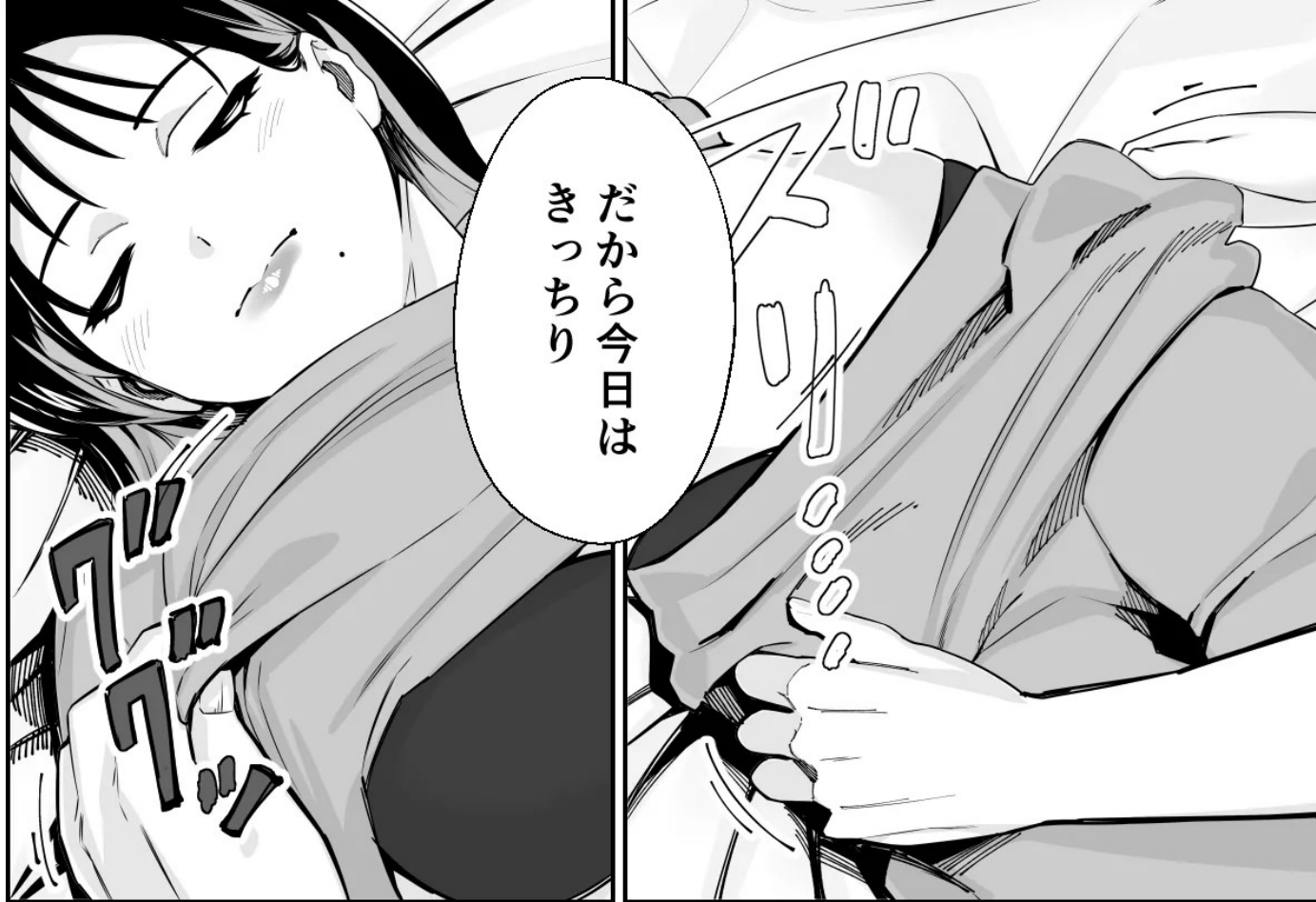


それに感度も  
いいな……

れえろ







だから今日は  
きっちり



そのことを  
わからせて  
やるからなア  
...?

クククク...

ゴクツッ...

おお……

……いつ見ても  
イイ体だ……

ヨキユ……

まさに男を  
悦ばせる  
ためだけに  
生まれて  
きたような  
体……

さすがグループ  
人気ナンバー1は  
伊達じゃないなあ！

ふんふん

ん

あぁ……

フハハハッ!!!

ズズ

ズズ

ズズ

ズズ

ズズ

ああ……  
タマらない……

むにゅ  
むにゅ  
むにゅ

むにゅ  
むにゅ

最高だよ  
シア……ッ

4年間

この体に  
ずーっと

教育して  
やりた  
かったんだ  
……

ちゅーはーはー  
ちゅーはーはー

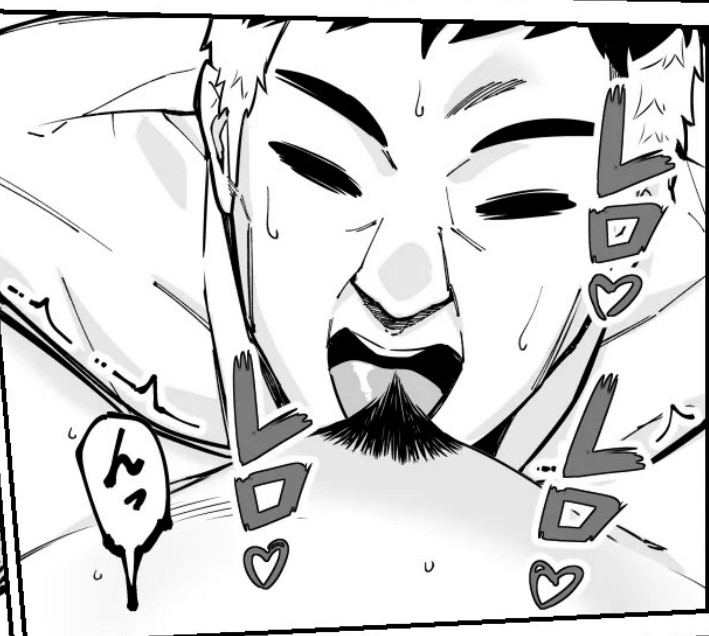
レロ  
レロ  
レロ

レロ  
レロ  
レロ

ずーっと……!!









……さて  
ではそろそろ  
私も楽しませて  
もらおうか……

ああ……っ  
たまらんっ！

きもちいい  
……！

いぢぢぢ  
♡

いぢぢぢ  
♡



好き放題  
してやるッ……！

いぢぢぢ  
♡

いぢぢぢ  
♡

いぢぢぢ  
♡

いぢぢぢ  
♡

思う存分  
……ッ！

いぢぢぢ  
♡

いぢぢぢ  
♡

いぢぢぢ  
♡

いぢぢぢ  
♡

いぢぢぢ  
♡

体のあらゆる  
部位を使って……！



ただただ  
私の性の捌け口  
として

ほっほっ♡  
ほっほっ♡

ほっほっ♡

ほっほっ♡

いりるんか...

徹底的に  
...  
ッ



犯しまくって  
やる...!!

んっ

んっ  
んっ  
んっ♡



んっ...  
んっ...

それじゃあ  
早速……

「本番」と  
いきますか  
……!

ピッ……

じゃあまず  
はハルカ……!



やはり処女……  
ではないが  
キツイ……!

入所してからの  
恋愛禁止は  
恐らく守って  
いたんだらうなッ!



フハハハハッ!

意外とマジメ  
じゃないか!





ああ……  
低学歴マ○コ  
気持ちいい……

チ○ポ  
気持ちいいいっ



膣も程よく  
締まって  
最高だ……ッ

それに適度に  
運動してるからか

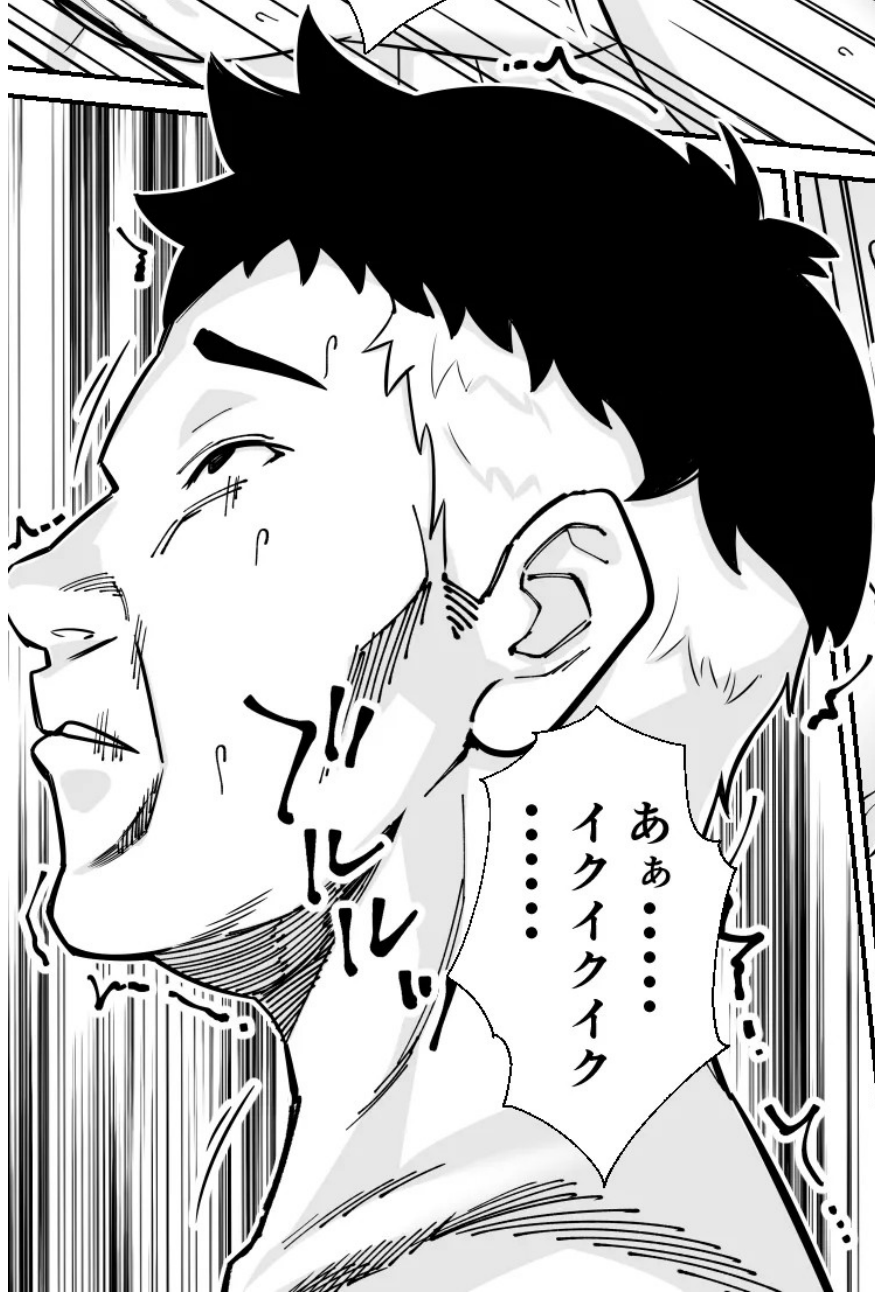




あぁ……

ダメだ……

そろそろ  
イクよ……



あぁ……  
イクイクイク  
……



ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

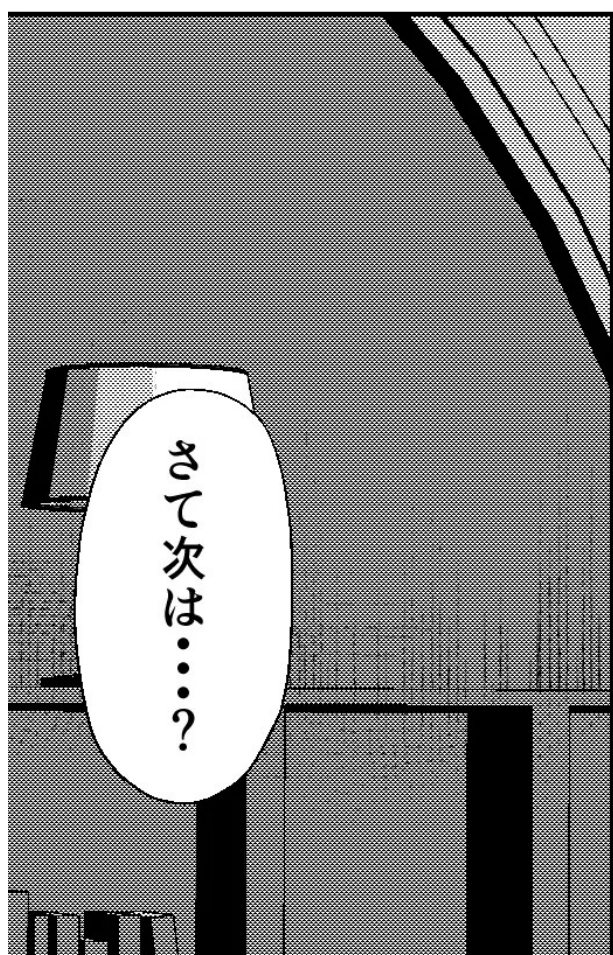


パンチ

パンチ

パンチ

パンチ



さて次は……？



……気持ちいい

パンチ……

パンチ

は

は

は

は







それにしても  
マイ

お前がこれほどの  
名器とはな...!

ムサッ

ムサッ

ムサッ

あっ

キス

キス

キス



いやはや  
素晴らしい  
才能だよ!

これからは  
しっかり  
「性玩具」として  
使いまくって  
やるからなア!

フハハハハッ!

キス

キス

キス

キス

あっ

キス

キス

あっ

キス

キス

キス



激キツマ〇コで

ああ……

おっ

おっ

うっ

ダメだ……ッ



もうイッちまう  
……!!

おっ

おっ

おっ

おっ





そして最後は  
シア……!

え……?

オマエは処女か  
非処女か……  
どっちだあ……?

ハッ  
ハッ  
ハッ



オラッ!

……  
処女だ……!

……

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ





ステージ上では  
あたかも選ばれた  
人間かのごとく  
振舞っていた女が

今は私のただの  
肉便器  
……!

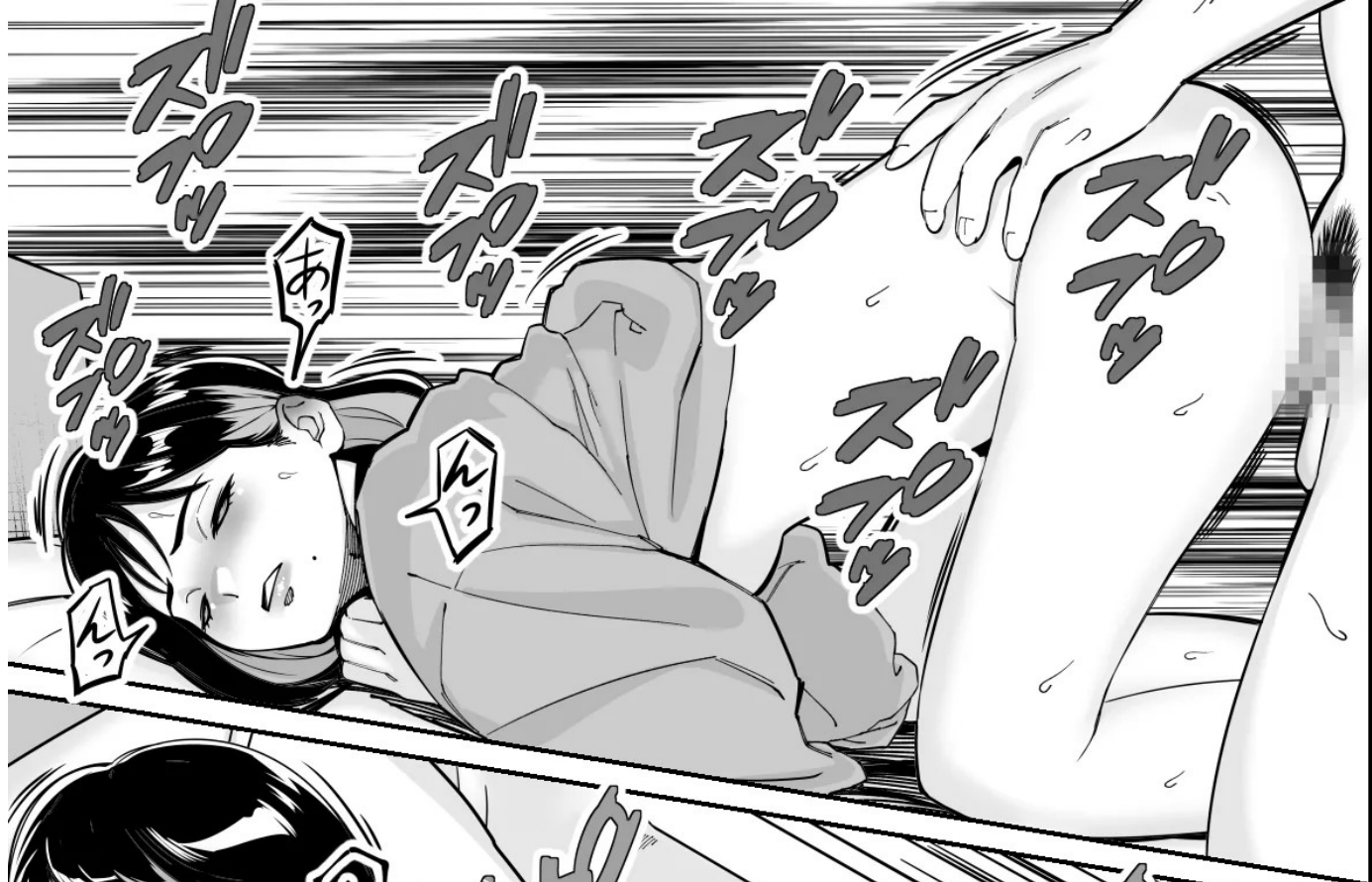


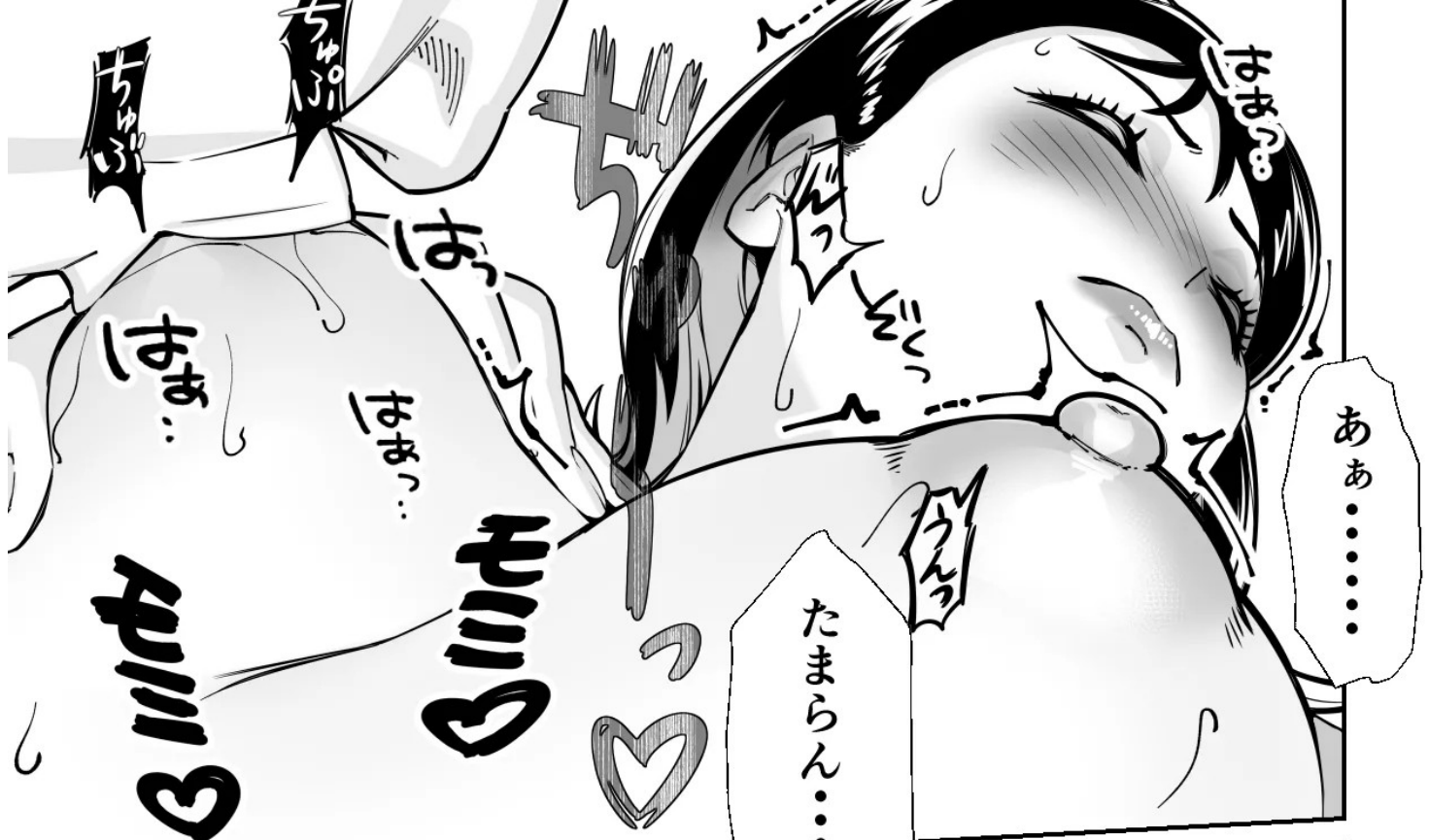
こんな  
に  
笑えることが  
あるか!?

フハハハハッ!









あぁ……

たまるん……

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡



最高過ぎる……

この体……

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡

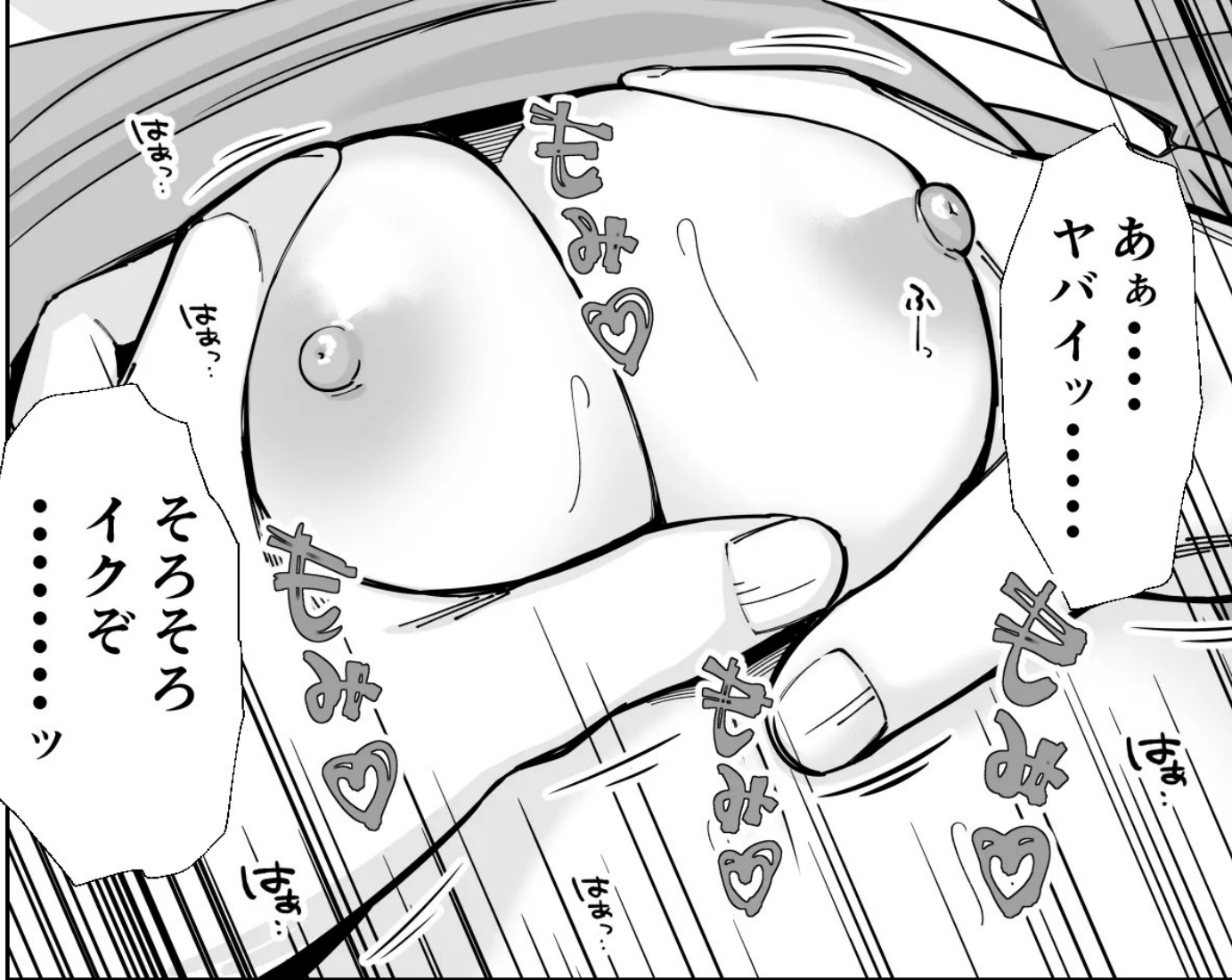
♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡



ああ……  
ヤバイッ……

そろそろ  
イクぞ  
……ッ



イクイクイク  
……ッ

「あの」シアの  
マ〇コで……ッ

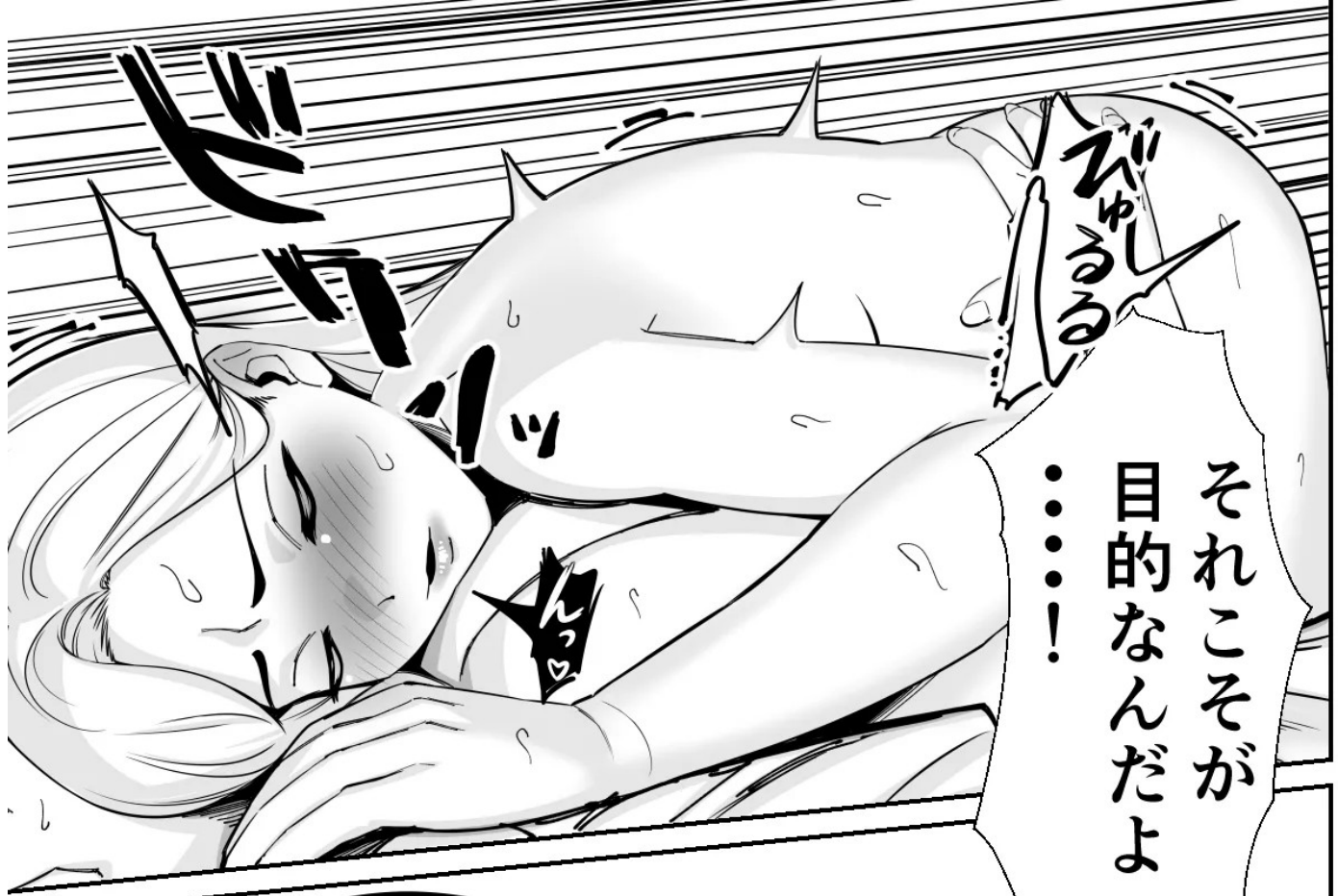
キリ  
やう











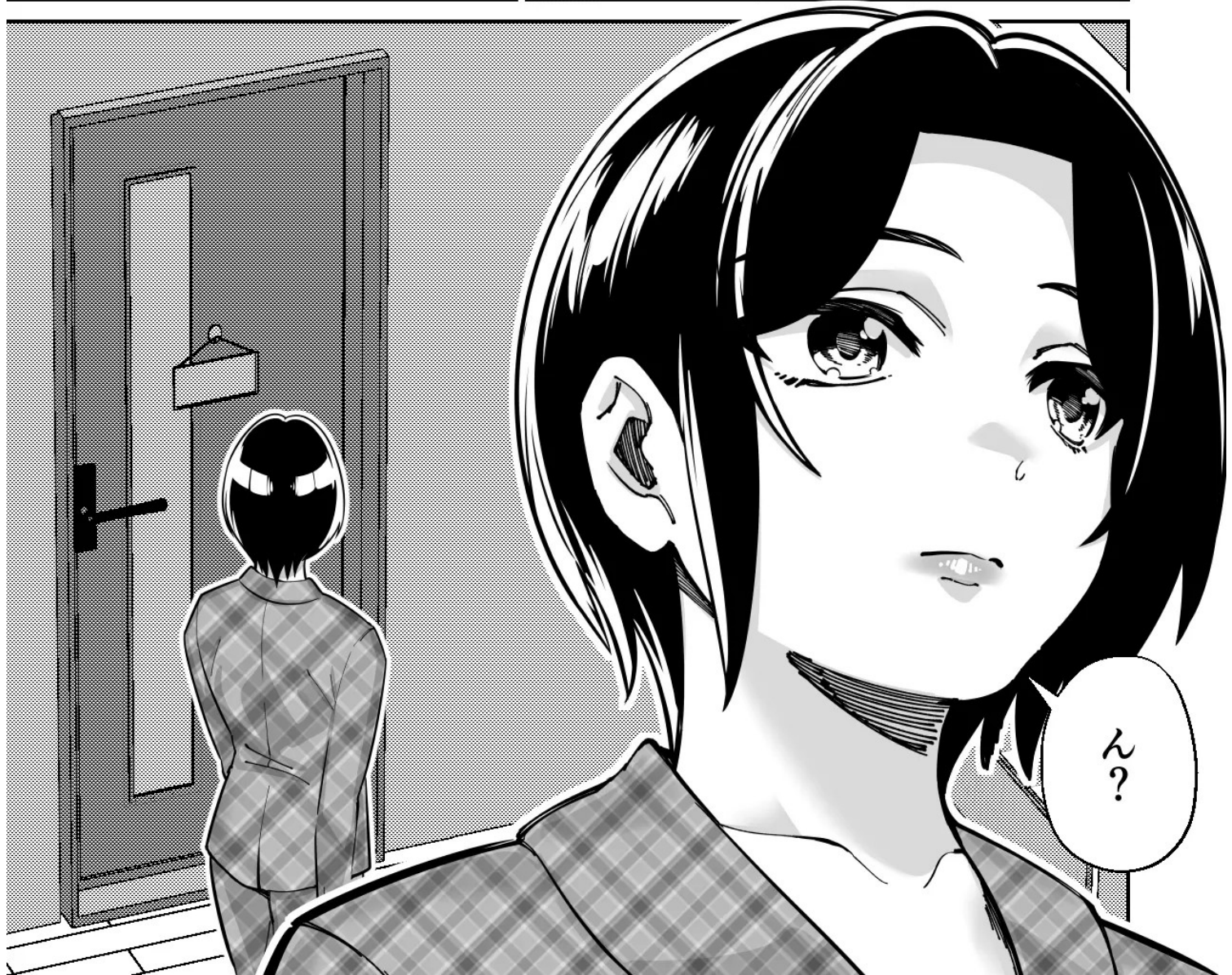
それこそが  
目的なんだよ  
……!



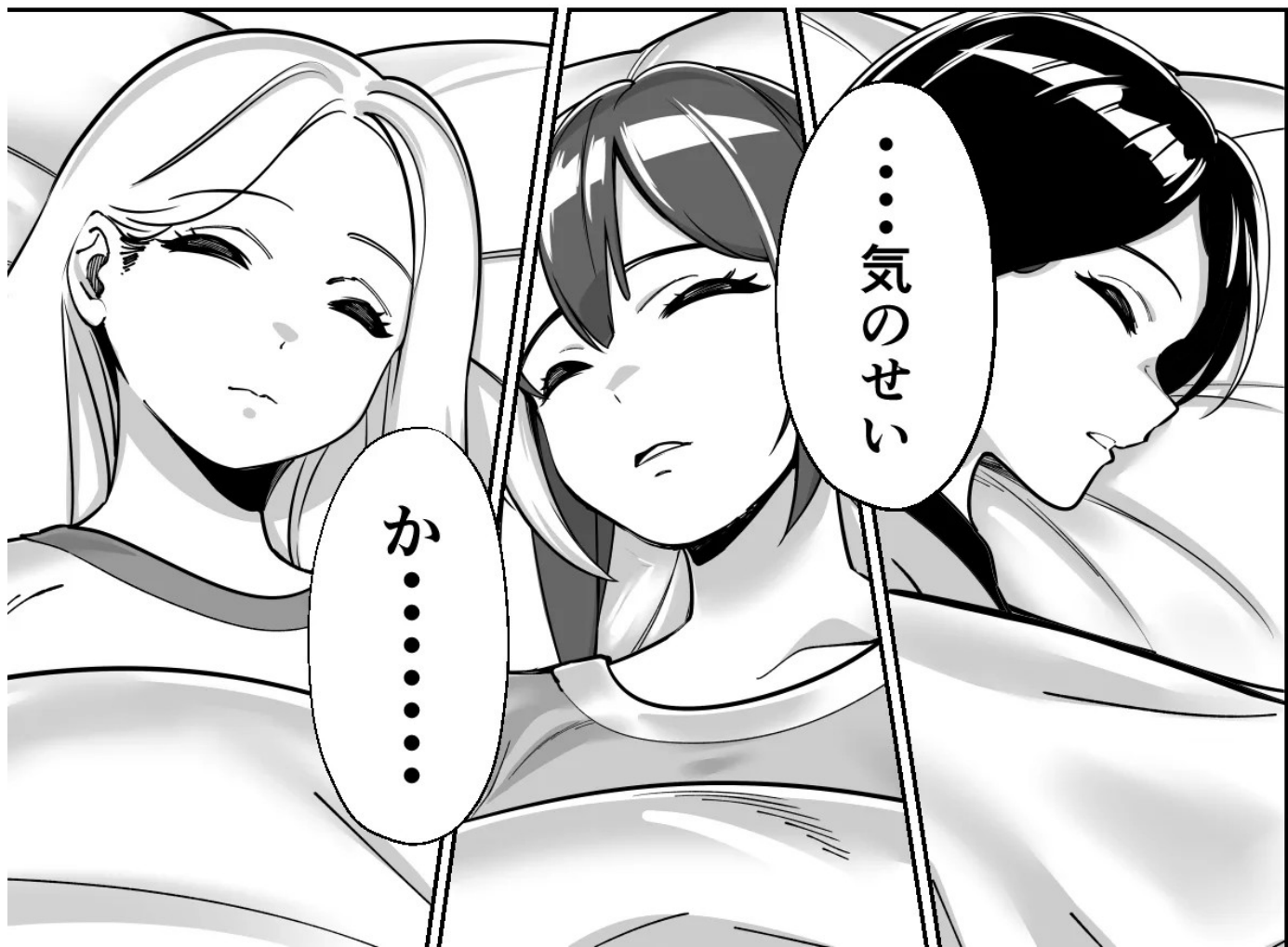














「アイドルに  
しては」  
高学歴なものも  
頷ける…



やはり  
コイツは  
勘がイイな

……  
フフ



……  
フン……

さすがに  
それはないか  
……  
ㄋㄋㄋ……



そういえば  
「食事」にも  
あまり手をつけて  
いなかったようだし  
……

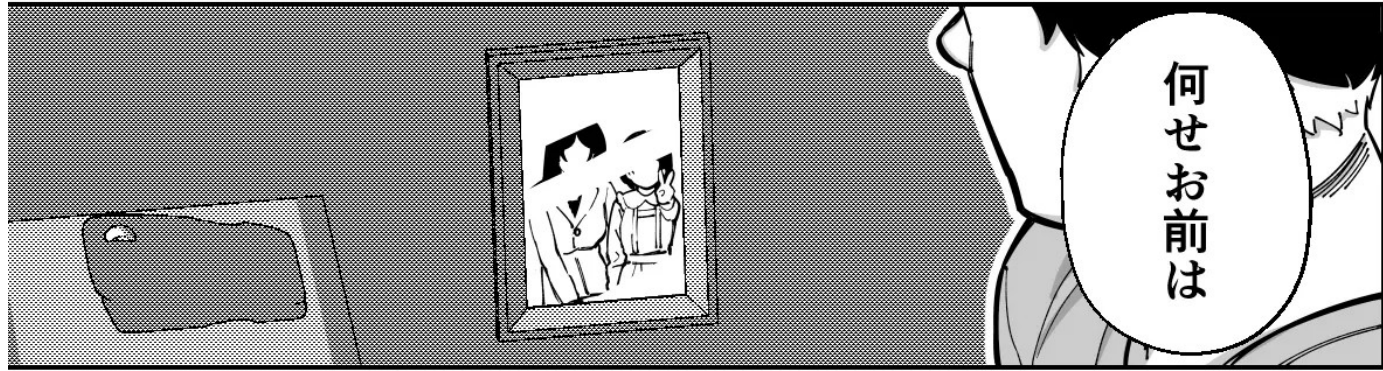
何かに  
勘づいたか  
……?



……それにナナ  
お前は最後まで  
決めている  
んだ……



何にせよ……  
チャンスは  
いくらでもある



何せお前は



「特別」……  
だからな  
……？



サークル名・とかもす

<https://fantia.jp/fanclubs/473707>

こちらでは「最新作に関する情報」や  
「進捗状況」などについてお伝えしております。  
宜しければこちらも是非ご覧くださいませ。



